

岐阜の畜産



2021



令和4年3月

岐 阜 県

表紙写真の説明

上段左: 第20回岐阜県畜産共進会 種牛の部

〈令和3年10月30日(土)、高山市〉

岐阜県畜産共進会種牛の部は、岐阜県内における優良雌牛の生産技術の向上と自立経営農家の育成、さらには和牛改良組合の組織強化を目的として行われております。名誉賞として若雌牛群で出品した高山市の肉用牛農家3戸が選出されました。

上段右: 令和3年度鶏卵・鶏肉料理コンクール

〈令和3年12月4日(土)、岐阜市〉

岐阜県養鶏協会主催で、新たな鶏卵・鶏肉調理法を拓き、鶏卵・鶏肉の消費拡大と鶏卵肉の正しい知識についての啓蒙と普及を図ることを目的として行われました。入選作品は岐阜県養鶏協会のリーフレットに掲載されています。

下段左: 第73回岐阜県畜産共進会 肉豚の部

〈令和4年1月19日(水)～1月21日(金)、岐阜市〉

岐阜県畜産共進会は、益々激化する産地間競争に打ち勝つため、本県における家畜改良の成果を検証し、今後の家畜の改良、飼養技術の更なる向上の礎とするために、肉用牛の部および肉豚の部の2部門を設け、開催されております。肉豚の部については、豚熱の影響で第71回以降は中止しておりましたが、今回、3年ぶりの開催となりました。優等賞1席には岐阜市の養豚農家が選出されました。

下段右: 第6回岐阜県ホルスタイン共進会

〈令和3年11月11日(木)、関市〉

第6回岐阜県ホルスタイン共進会は、岐阜県内におけるホルスタイン種の改良増殖の成果と優良種雄牛の造成意欲の高揚、酪農経営の健全な発展の場となっています。未經産牛グランドチャンピオンとしては高山市の酪農家が、経産牛グランドチャンピオンとしては中津川市の酪農家が選出されました。

目 次

I 畜産の概況

1	全国的にみた岐阜県の畜産の地位	1
2	農業産出額に占める畜産産出額割合	2
3	農業産出額と畜種別産出額	3
4	岐阜県の畜産物ブランド	
	飛騨牛	4
	まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク	5
	奥美濃古地鶏	6
	美濃飛騨はちみつ	7
5	飼料	
	(1) 飼料作物栽培面積及び収量	8
	(2) 飼料用稲の生産状況	9
	(3) 配合飼料の流通量・価格の推移	9
6	岐阜県家畜育成牧場	
	(1) 牧場の概要	10
	(2) 家畜の譲渡頭数等の推移	10
7	畜産生産振興地域指定市町村分布	11
8	家畜衛生	
	(1) 家畜伝染病発生状況	12
	(2) 獣医事	
	ア 獣医師の就業状況	13
	イ 飼育動物診療施設の状況	13
	(3) 動物用医薬品販売業者等数	13
9	環境保全対策	
	(1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移	14
	(2) 畜種別の糞尿処理状況	14
10	畜産コンサルタント事業	15
11	家畜の改良と増殖	
	(1) ブロック別家畜登録状況	15
	(2) 得点別登録状況	15
	(3) 人工授精頭数の推移	16
	(4) 受精卵移植成績の推移	16
12	競馬	17

II 畜種別の動向

1	乳用牛	
	(1) 乳用牛の飼養頭数の分布	18
	(2) 乳用牛の飼養戸数と頭数	19
	(3) 生乳の生産と処理量	19
	(4) 全国の飲用牛乳の生産	20
	(5) 飲用牛乳の生産	20
	(6) 生乳と飲用牛乳の流通	21
	(7) 生乳の学校給食用供給量の推移	22
	(8) 県内の学校給食用牛乳供給乳業工場	22

2	肉用牛	
	(1) 肉用牛の飼養頭数の分布	23
	(2) 肉用牛の飼養戸数と頭数	24
	(3) 肉用牛の種別飼養頭数	24
	(4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格	25
	(5) 県内の子牛市場	26
	(6) 肉用子牛価格	26
3	豚	
	(1) 豚の飼養頭数の分布	27
	(2) 豚の飼養戸数と頭数	28
	(3) 豚のと畜頭数と取引価格	28
4	採卵鶏・ブロイラー	
	(1) 採卵鶏の飼養羽数の分布	29
	(2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数	30
	(3) 鶏卵の生産量	30
	(4) ひな出荷羽数	31
	(5) ブロイラーの飼養羽数の分布	32
	(6) ブロイラーの出荷羽数	33
5	養蜂	34
6	めん羊・馬	
	(1) めん羊の飼養戸数と頭数	35
	(2) 馬の飼養戸数と頭数	35
	公共牧場の概要	36
	県畜産関係機関一覧	37
統計表		別冊

I 畜産の概況

1 全国的にみた岐阜県の畜産の地位(令和3年2月1日現在)

畜種	順位			
	飼養戸数	飼養頭羽数	1戸当たり飼養頭羽数	産出額(令和2年)
乳用牛	27位 (102戸)	28位 (5,510頭)	29位 (54.0頭)	29位 (43億円)
肉用牛	20位 (464戸)	22位 (32,800頭)	23位 (70.7頭)	17位 (115億円)
豚	28位 (27戸)	27位 (79,800頭)	12位 (2,955.6頭)	23位 (79億円)
採卵鶏	7位 (68戸)	17位 (5,018千羽)	18位 (77.2千羽)	16位 (127億円)
ブロイラー	25位 (14戸)	24位 (881千羽)	14位 (62.9千羽)	26位 (19億円)
みつばち (1月1日現在)	(400戸)	(6,930群)		

*採卵鶏:成鶏めす1,000羽以上の飼養者(ひなのみ及び種鶏のみで、それぞれ1,000羽以上の飼養者含む)

*採卵鶏産出額は鶏卵のみ

*ブロイラー:年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者口

資料:農林水産省統計部「畜産統計調査」、「生産農業所得統計」

資料:みつばち「県畜産振興課」

令和3年2月1日現在の農家戸数及び飼養頭羽数は、乳用牛が102戸、5,510頭、肉用牛が464戸、32,800頭となっている。

採卵鶏の飼養戸数及び産出額については、上位に位置する。豚の1戸当たり飼養頭羽数についても、上位に位置する。その他の項目は、中位に位置している。

2 農業産出額に占める畜産産出額割合(令和2年)

畜産産出額の全国順位

都道府県	順位	畜産 産出額	構成比	産出額 割合
		億円	%	%
北海道	1	7 337	22.7	57.9
青森	10	883	2.7	27.1
岩手	4	1 628	5.0	59.4
宮城	12	724	2.2	38.1
秋田	26	365	1.1	19.2
山形	25	376	1.2	15.0
福島	19	434	1.3	20.5
茨城	5	1 270	3.9	28.8
栃木	6	1 225	3.8	43.0
群馬	9	1 079	3.3	43.8
埼玉	34	245	0.8	14.6
千葉	7	1 194	3.7	31.0
東京	46	20	0.1	8.7
神奈川	36	147	0.5	22.4
新潟	17	485	1.5	19.2
富山	41	78	0.2	12.4
石川	39	88	0.3	16.4
福井	44	44	0.1	9.8
山梨	41	78	0.2	8.0
長野	30	269	0.8	10.0
岐阜	22	411	1.3	37.6
静岡	18	451	1.4	24.0
愛知	11	831	2.6	28.7
三重	21	419	1.3	40.2
滋賀	38	106	0.3	17.1
京都	37	125	0.4	19.4
大阪	47	19	0.1	6.1
兵庫	13	592	1.8	40.1
奈良	43	55	0.2	13.9
和歌山	45	35	0.1	3.2
鳥取	29	290	0.9	38.0
島根	33	253	0.8	40.8
岡山	14	585	1.8	41.4
広島	16	487	1.5	40.9
山口	35	182	0.6	30.9
徳島	32	255	0.8	26.7
香川	28	320	1.0	39.6
愛媛	31	258	0.8	21.0
高知	40	82	0.3	7.4
福岡	24	383	1.2	19.4
佐賀	27	342	1.1	28.1
長崎	15	532	1.6	35.7
熊本	8	1 192	3.7	35.0
大分	20	430	1.3	35.6
宮崎	3	2 157	6.7	64.4
鹿児島	2	3 120	9.7	65.4
沖縄	23	397	1.2	43.6

*産出額割合:

農業産出額に占める畜産産出額の割合

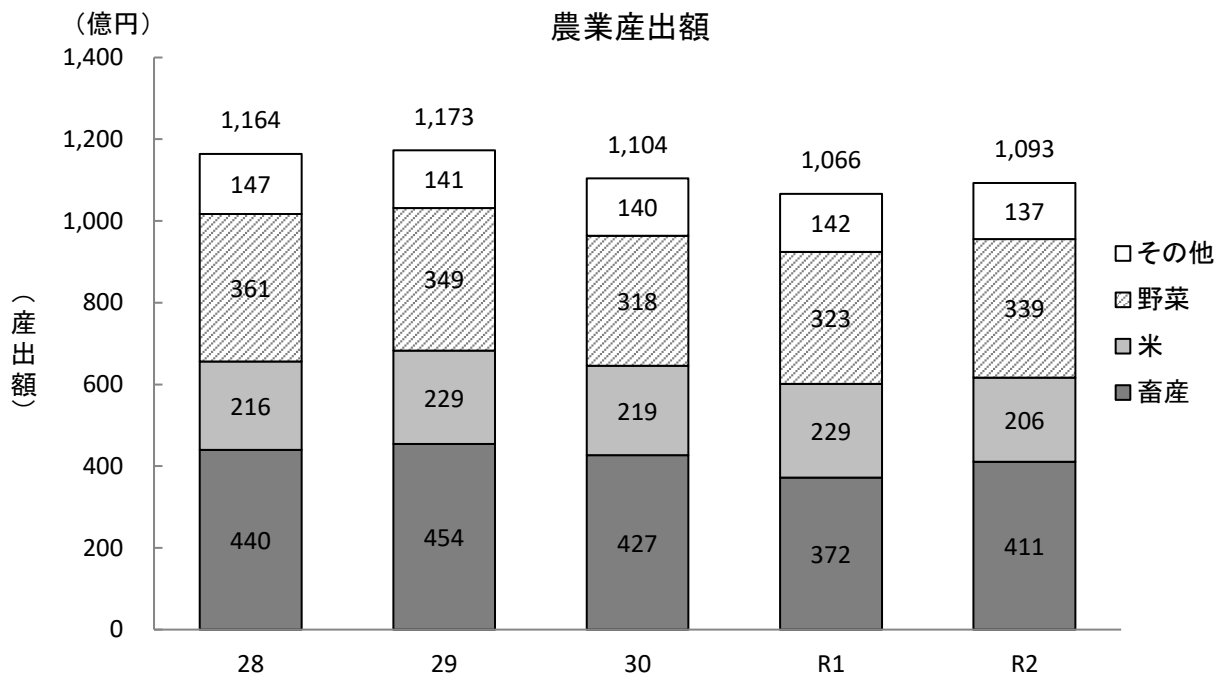
資料:農林水産省統計部「生産農業所得統計」

岐阜県の畜産産出額割合は37.6%

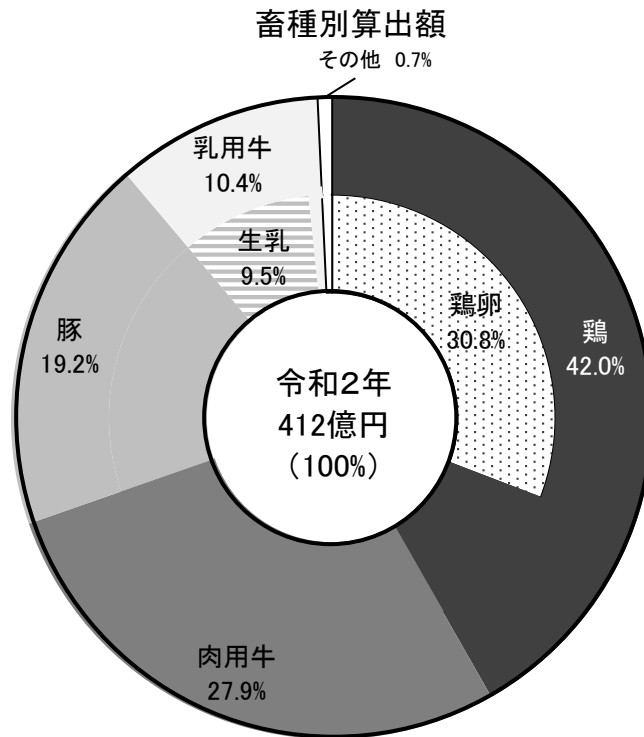
岐阜県の農業産出額に占める畜産産出額の割合は、前年よりやや増加の37.6%。

畜産産出額を都道府県別にみると、乳用牛を主体とする北海道が第1位で7,337億円(全国シェア22.7%)、次いで鹿児島県の3,120億円(同9.7%)、宮崎県の2,157億円(同6.7%)となっており、岐阜県は22位で411億円(同1.3%)となっている。

3 農業産出額の推移と畜種別産出額内訳



資料: 農林水産省統計部「生産農業所得統計」



資料: 農林水産省統計部「生産農業所得統計」

農業産出額は増加

岐阜県における令和2年の農業産出額は、1,093億円となり、前年に比べて27億円(2.5%)増加した。

部門別産出額では、米、野菜、果実、花き、工芸農作物等の耕種部門は681億円で、前年に比べ12億円(1.7%)減少し、畜産部門は412億円で前年に比べ40億円(10.8%)増加した。

畜種別にみると、肉用牛は115億円、乳用牛は43億円で、どちらも前年に比べわずかに減少した。豚は79億円で、前年に比べ41億円(107.9%)増加し、鶏は172億円、前年に比べ2億円(1.2%)増加した。

4 岐阜県の畜産物ブランド

飛 騨 牛

豊かな自然が育んだ味

「飛騨牛」とは、飼養期間が最も長い場所が岐阜県であり、飛騨牛銘柄推進協議会登録農家制度[※]にて認定・登録された生産者により14カ月以上肥育された黒毛和種の肉牛のうち、(公社)日本食肉格付協会が実施する牛枝肉格付により肉質等級5等級・4等級・3等級と格付けされたものであることを飛騨牛銘柄推進協議会事務局が確認し、認定したものです。

清らかな水と澄んだ空気、人々の愛情により育てられ、その肉質はきめ細かくやわらかで、とろけるような旨みは牛肉の芸術品と呼ぶにふさわしい逸品です。

※登録農家制度

岐阜県内にて黒毛和種を飼養する生産者を対象に、手続きを経て認定・登録する制度

(飛騨牛銘柄推進協議会ホームページにて公開)



【関連団体】

飛騨牛銘柄推進協議会 [昭和63年1月23日設立]

(事務局: 全農岐阜県本部畜産販売課内)

<https://www.hidagyu-gifu.com>

【年間認定頭数の推移】

(単位: 頭)

年 度	H28	H29	H30	R1	R2
認定頭数	9,950	9,916	10,042	9,784	9,727

【登録農家数】

242戸

(令和3年3月31日時点)

【指定店数】

販売店 162店

料理店 192店

海外推奨店 50店

(令和3年3月31日時点)



(提供: 飛騨牛銘柄推進協議会)

まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク

県内の養豚農家がそれぞれのこだわりをもって生産した銘柄豚肉の数々

岐阜県内には、「飛騨けんとうん・美濃けんとうん」をはじめ、各々の養豚農家が飼料や飼育方法にこだわりを持って生産した数々の銘柄豚肉があります。

岐阜県養豚協会では、県内においしい銘柄豚肉がたくさんあることを知ってもらい、これらの県産銘柄豚肉を一体的にPRしていくため、『まるっとうんまい清流の国岐阜県産ポーク』という統一名称、キャッチコピー、ロゴマークを決め、岐阜県産豚肉の一層の支持、販路の拡大を図ることとしています。



【関連団体】

岐阜県養豚協会[昭和51年9月8日設立]
(会員数26名 令和3年度)

【参加銘柄:順不同】(令和3年4月1日時点)

飛騨けんとうん・美濃けんとうん
寒天そだち三浦豚
あんしん豚

飛騨旨豚
納豆喰豚
ボノポークぎふ

郡上クラシックポーク
美濃ヘルシーポーク
はちや豚

* 参加保留中：文殊にゆうとん、山金豚



肉羊濃士地産

奥美濃古地鶏 神代の味の再現

「奥美濃古地鶏」は、鶏の原種の特徴を最も色濃く残すといわれ天然記念物に指定されている「岐阜地鶏」を基に、岐阜県が開発した地鶏で肉用鶏と卵用鶏があります。

肉用鶏は、奥美濃古地鶏普及推進協議会が生産者を認定し、「地鶏肉の日本農林規格」に準じた生産を行っています。ゆったりと十分に運動できる環境において、75日間以上かけて飼育しているため、肉は赤みを帯び、歯ごたえよく、あふれる旨みの特徴です。

また、卵用鶏の卵は一般の鶏卵に比べて小ぶりですが、卵黄の比率が高く、濃厚でコクがあります。



※「地鶏肉の日本農林規格」

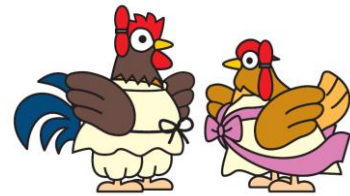
「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」に基づき、国が定めた「地鶏肉」の規格

【関連団体】

奥美濃古地鶏普及推進協議会[平成4年7月17日設立]

(事務局:岐阜アグリフーズ株式会社内)

<http://okuminokojidori.com/>



奥美濃古地鶏公式キャラクター

(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)

【肉用鶏の年間え付け羽数の推移】

年度	H28	H29	H30	R1	R2
え付け羽数	155.5千羽	132.2千羽	126.2千羽	116.6千羽	106.8千羽
飼養戸数	5戸	5戸	6戸	6戸	5戸

【指定店数】

販売店 34店

料理店 24店

(令和3年3月31日時点)



肉用 奥美濃古地鶏

(提供:奥美濃古地鶏普及推進協議会)



卵用 奥美濃古地鶏

(提供:県畜産研究所)

美濃飛騨はちみつ

近代養蜂発祥の地

現在の西洋式の養蜂は明治の中期に日本に導入され、岐阜県の養蜂家が中心となり、養蜂器具の作成や技術の普及が行われました。明治43年には第1回全国養蜂家大会が岐阜県で開催されました。このため、岐阜県は「近代養蜂発祥の地」と言われています。

岐阜県では標高差のある自然条件を生かし、岐阜・西濃地域のれんげ蜜や中濃・東濃・飛騨地域のソヨゴ蜜、とち蜜、アカシア蜜など様々な種類のはちみつが生産されています。

近年の養蜂業は、はちみつ、蜜ろう、ローヤルゼリーの生産だけでなく、野菜や果樹の花粉交配にも蜜蜂が利用されていることから、農産物の生産に大きく寄与しています。

岐阜県養蜂組合連合会は平成18年度から岐阜県内養蜂業界の発展を図ることを目的として、岐阜県内で生産・販売する岐阜県産天然はちみつを対象に県内での統一した銘柄づくりに着手。その第一歩として、右図にあるような「美濃飛騨はちみつ」の統一シール（右上）の貼付を行い、農業フェスティバル等でアピールを行っています。



【関連団体】

岐阜県養蜂組合連合会[昭和27年3月設立]
(県内11地域組合 会員数93名 令和3年度)

【県内のはちみつ生産量の推移】

年次	H28	H29	H30	R1	R2
はちみつ生産量	118.2t	104.3t	102.2t	103.6t	103.0t

(岐阜県養蜂組合連合会調べ)



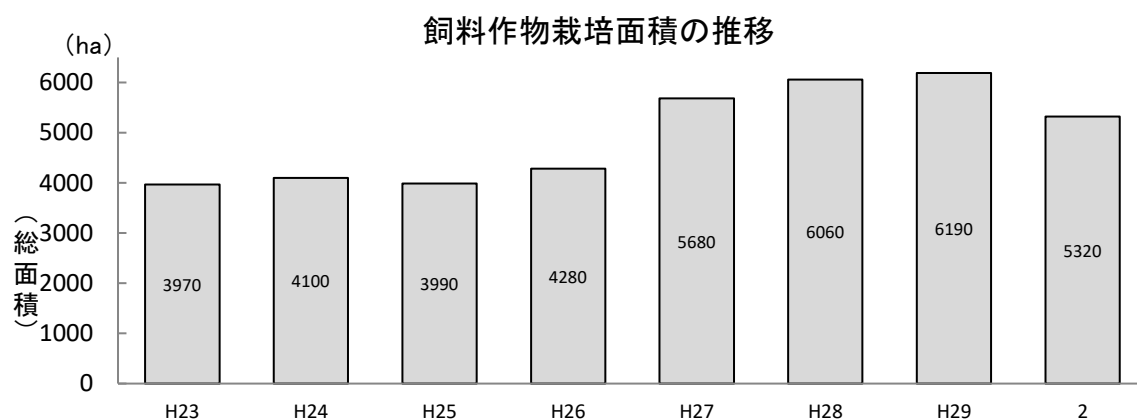
いちごの受粉を行う蜜蜂



県内産のいろいろなはちみつ

5 飼料

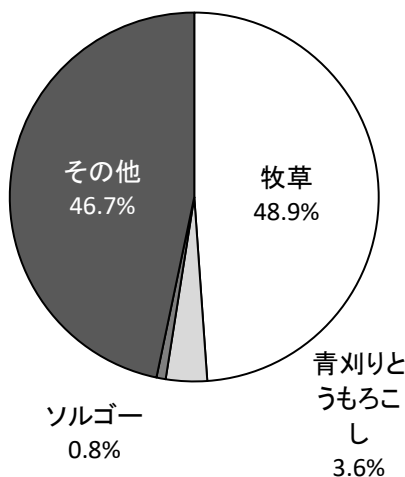
(1) 飼料作物栽培面積及び収量



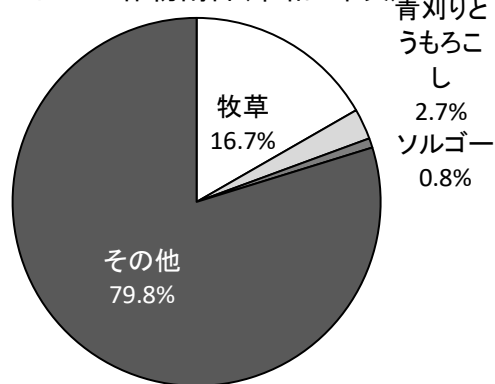
資料: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

※飼料作物の作付面積は、3年後ごとに全国調査を実施することとなり、H30年～R1年は主要県のみ調査となり、岐阜県の数値は公表されていない。

飼料作物栽培面積の割合(令和2年次)

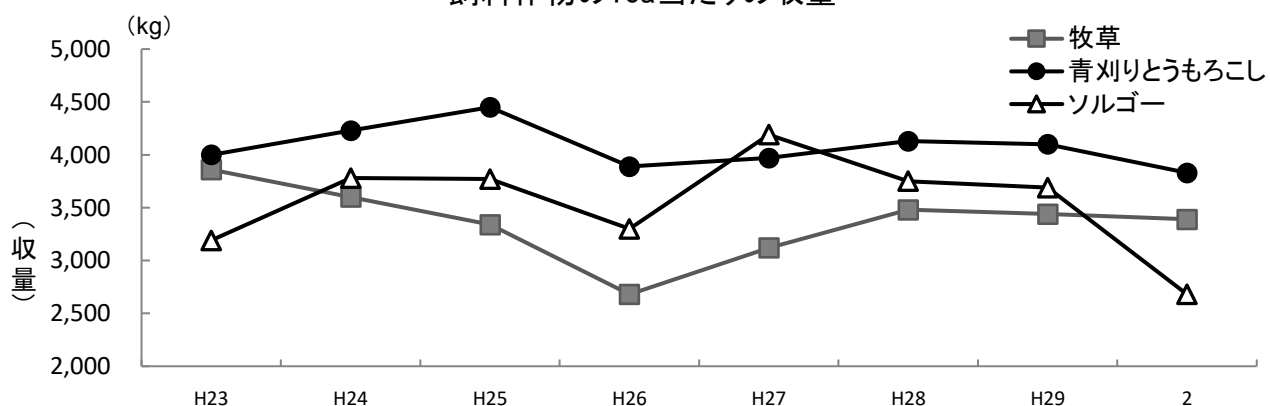


田での作物割合(令和2年次)



資料: 農林水産省統計部「耕地及び面積統計」

飼料作物の10a当たりの収量

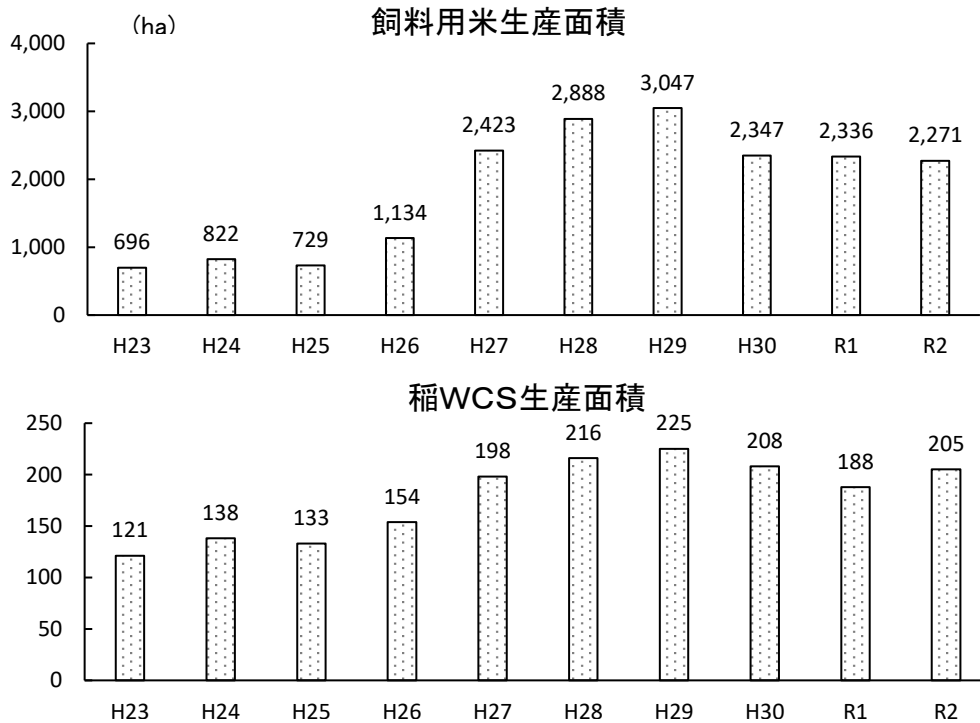


資料: 農林水産省統計部「作物統計調査」

飼料作物栽培面積は減少

令和2年度の飼料作物栽培面積は、前回調査時と比較して14.1%減少した。栽培面積の割合は牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴーの順に高いが、10a当たりの収量は青刈りとうもろこしが最も多い。

(2) 飼料用稲の生産状況

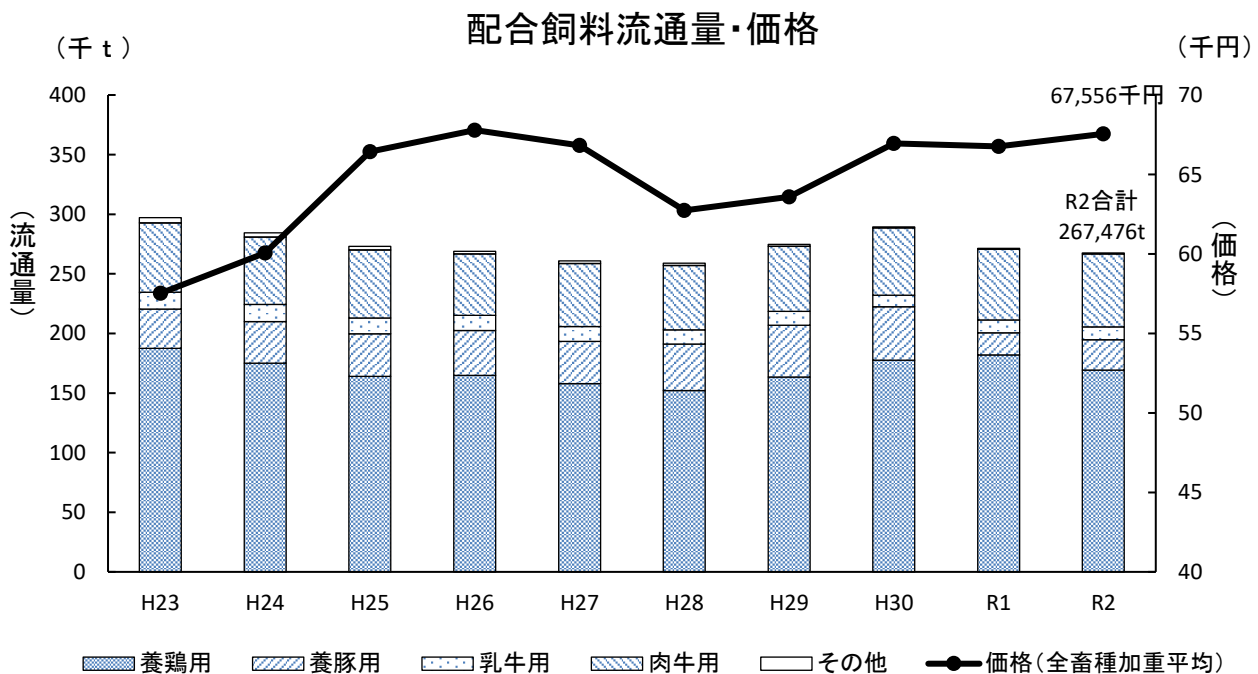


資料: H23~H28: 経営所得安定対策の支払実績、H29以降: 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」

飼料用米生産面積は横ばい、稲WCSはわずかに増加

令和2年度の飼料用米生産面積は2,271haで、前年と同程度であった。稲WCS生産面積は、205haで前年比9.0%増加した。

(3) 配合飼料の流通量・価格の推移



資料: 農林水産省「飼料月報」

配合飼料流通量は横ばい、価格は高止まり

飼料用米生産面積は横ばいで推移しているが、稲WCS生産面積は205haで前年比9.0%増加した。令和2年度の配合飼料流通量は267,476tで、令和元年度と同程度であった。配合飼料価格は67,556千円と高止まりが続いている。

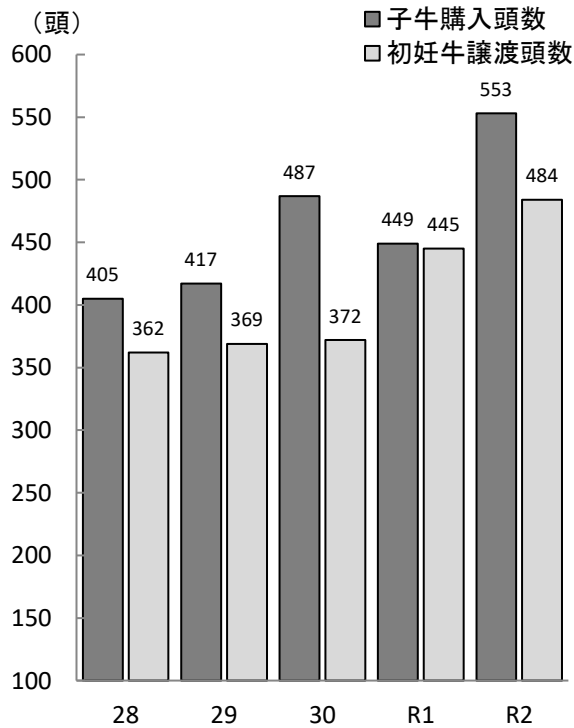
6 岐阜県家畜育成牧場

(1) 牧場の概要

	東濃牧場	飛騨牧場
事業の内容	優良乳用初妊牛の育成譲渡	和牛繁殖改良基礎雌牛の生産譲渡
牧場の範囲	恵那市 (旧恵那市) (旧恵那郡岩村町)	高山市 (旧大野郡清見村) (旧大野郡荘川村)
総面積	229.1ha	368.3ha
標高	630～700m	1,100～1,400m
採草放牧地面積 (草地面積)	162ha	281ha
うち採草地	53ha	44ha
うち放牧地	109ha	237ha

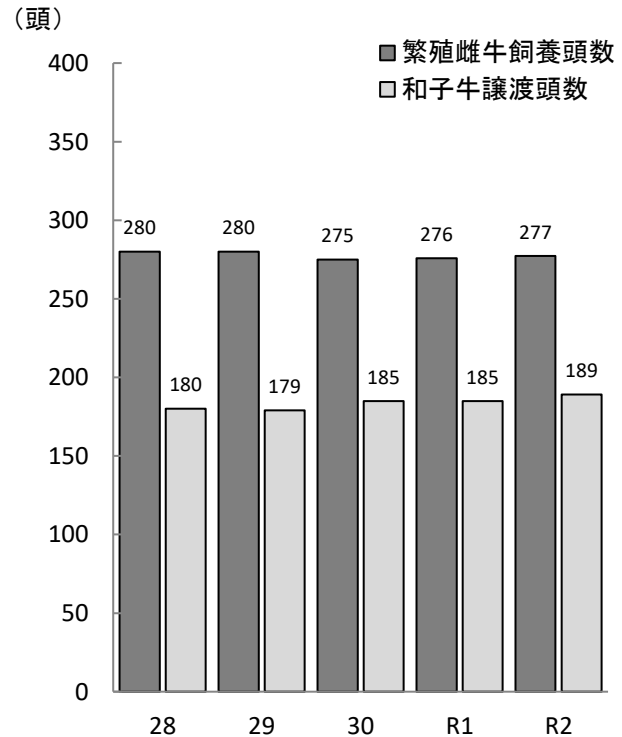
(2) 家畜の譲渡頭数等の推移

年度別子牛購入・初妊牛譲渡頭数
(東濃牧場)



資料：(一社)岐阜県農畜産公社

年度別肉用牛繁殖雌牛飼養頭数・和子牛譲渡頭数
(飛騨牧場)



資料：(一社)岐阜県農畜産公社

岐阜県は、大家畜資源の確保及び畜産経営の合理化を図るため、東濃及び飛騨地区に国の共同利用模範牧場設置事業により家畜育成牧場を建設した。

昭和48年4月に社団法人岐阜県畜産開発公社が設立(平成11年4月1日に財団法人岐阜県農業公社と合併し、社団法人岐阜県農畜産公社となる。また、平成25年4月1日には、一般社団法人に移行。)され、牧草地を利用して優秀な子牛を育成し、農家へ供給する家畜育成事業を実施している。

年度別実績は、上図のとおり。

8 家畜衛生

(1) 家畜伝染病発生状況

病名 年次	牛(頭)			馬(頭)	豚(頭)		鶏(羽)			みつばち(群)
	ブルセラ症	結核	ヨーネ病	馬伝染性 貧血	豚熱	流行性 脳炎	高病原性鳥 インフルエンザ	ニュー カッスル病	家きん サルモネラ症	腐蛆病
昭和31～40	14	106		89	1,009				264,710	1,439
41～50	2	16		34				23,591	1,073	1,171
51～63	2	9		4	414				146	1,081
平成元～10	2	2								347
11～20			13			1				57
21			4							
22										9
23										1
24										
25			1							
26			1							3
27										6
28										3
29							7			2
30					7					1
令和元					36					
令和2										1

* 豚熱頭数は飼育下のししを加えると計8頭

資料: 農林水産省「監視伝染病の発生状況」

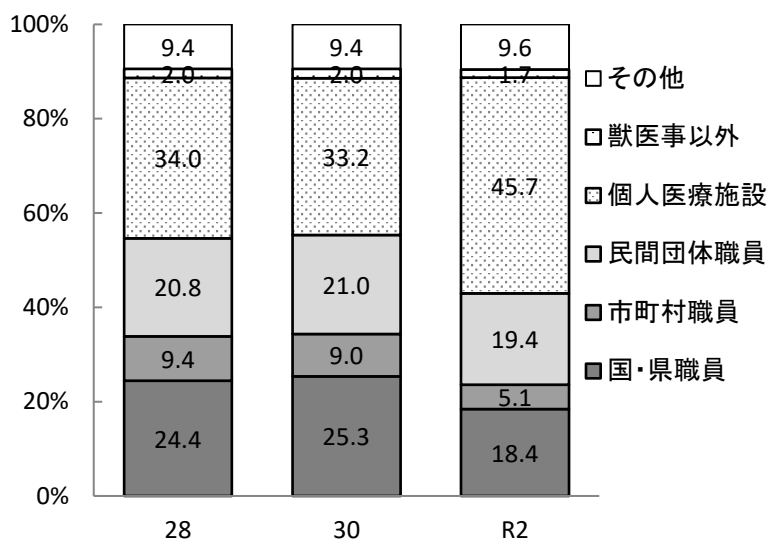
令和2年次は、国内では牛ヨーネ病(20道県809頭)、豚熱(4県23頭)、高病原性鳥インフルエンザ(13県113羽)などの発生があり、県内では腐蛆病の発生があった。

令和2年には家畜伝染病予防法が改正され、全国的に発生予防対策やまん延防止対策の強化が図られている。また、口蹄疫、牛海綿状脳症、豚熱及び高病原性鳥インフルエンザなどの重要疾病について防疫指針が改正され、発生防止に努めている。

また、県内の豚熱発生は現在小康状態を保っているが、野生いのししでは陽性個体も見られていることから、引き続き検査・指導を強化し、家畜伝染病の発生防止及び本県への侵入防止を図る。

(2) 獣医事

ア 獣医師の就業状況



資料: 農林水産省「獣医師の届出状況(獣医師数)」

イ 飼育動物診療施設の状況

(令和3年3月末現在)

地域	診療施設数	
	診療施設数	うち産業動物
中央	136	24
中濃	44	15
東濃	48	19
飛騨	33	22
計	261	80

資料: 県家畜防疫対策課

県内の獣医師の届出数(令和2年12月)は総勢673名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は155名(23.0%)であった。前回届出数(平成30年12月)に比べ、5名増加した。

全国の獣医師の届出数(令和2年12月)は総勢40,251名で、うち農林畜産関係に従事する獣医師は7,851名(19.5%)であり、県内の農林畜産関係に従事する獣医師の比率は全国と比べるとやや高い。

(3) 動物用医薬品販売業者等数

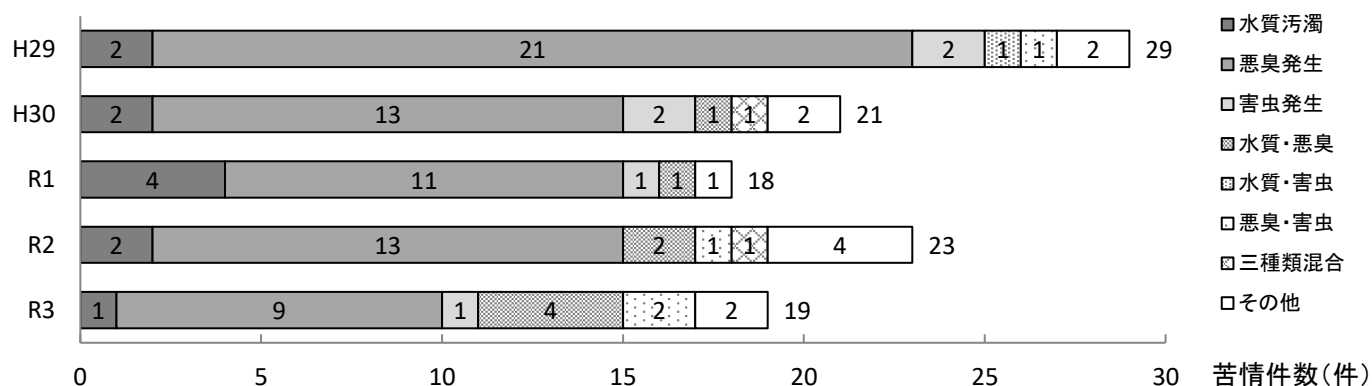
令和3年3月末現在

区分	家保	中央	中濃	東濃	飛騨	計
店舗販売業		24	0	5	2	31
卸売販売業		9	0	1	2	12
特例店舗販売業		44	25	24	18	111
計		77	25	30	22	154
管理医療機器販売・貸与業		32	1	3	3	39
高度管理医療機器販売・販売業		7	1	0	2	10
計		39	2	3	5	49
動物用医薬品製造業		2	1	1	3	7
動物用医薬部外品製造業		0	1	0	0	1
動物用医療機器製造業		4	5	0	0	9
動物用医薬品製造販売業		0	2	1	0	3
動物用医薬部外品製造販売業		0	0	0	0	0
動物用医療機器製造販売業		2	4	0	0	6
計		8	13	2	3	26
動物用医療機器修理業		10	0	0	0	10
計		10	0	0	0	10
総計		134	40	35	30	239

資料: 県家畜防疫対策課

9 環境保全対策

(1) 畜産経営に起因する苦情発生件数の推移



苦情の畜種別発生件数(令和3年度※注1)

	水質汚濁	悪臭発生	害虫発生	水質・悪臭	水質・害虫	悪臭・害虫	三種類混合	その他	合計 (割合)
牛	1	5		1				1	8 (42.1%)
豚				2					2 (10.5%)
鶏		4	1	1		2		1	9 (47.4%)
その他								0	0 (.0%)
合計 (割合)	1 (5.3%)	9 (47.4%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	0 (.0%)	2 (10.5%)	0 (.0%)	2 (10.5%)	19 (100.0%)

資料: 県畜産振興課

注1: 調査期間はR2.7.1～R3.6.30

苦情発生件数は前年度と比較し減少

令和3年度における畜産経営に起因する苦情発生件数は、前年度より減少し19件であった。その畜種別内訳は上記表のとおりであり、牛は6件減少、豚は1件減少し、鶏は4件増加した。苦情の種類は、悪臭発生が最も多く、水質と悪臭など複合的な内容の苦情もあった。

(2) 畜種別の糞尿処理状況

総排せつ物量(令和2年度) 751千t

ア 固形物

畜種	処理量 (千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ()内は割合			
		発酵	乾燥	焼却	その他
牛	385	378 (98%)	4 (1%)	0 (%)	3 (1%)
豚	43	43 (100%)	0 (%)	0 (%)	0 (%)
鶏	249	206 (83%)	13 (5%)	28 (11%)	2 (1%)
合計	676	626 (93%)	17 (2%)	28 (4%)	5 (1%)

イ 液状物

畜種	処理量 (千t/年)	処理方法別 内訳(千t/年) ()内は割合		
		液肥	浄化	その他
牛	8	2 (28%)	2 (23%)	4 (49%)
豚	66	3 (4%)	61 (92%)	3 (4%)
合計	75	5 (7%)	63 (84%)	7 (9%)

資料: 県畜産振興課

注: なお、四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は合計の数値と一致しない場合がある。

総排せつ物量の90%が固形物

令和2年度における家畜糞尿の処理状況は、総排せつ物量751千tの約90%に当たる676千tが固形物として処理され、残り約10%に当たる75千tが液状物として処理された。

固形物は、各畜種とも9割以上が発酵もしくは乾燥処理されており、計643千tが堆肥として農地還元された。また、液状物は、5千tが液肥として農地還元され、約84%に当たる63千tが浄化処理された。

10 畜産コンサルタント事業

診断件数	H30	R1	R2
酪農	5	2	1
肉用牛	10	7	8
乳肉複合	0	1	2
養豚	2	0	0
養鶏	1	1	0
計	18	11	11

資料：県畜産振興課

令和2年度畜産コンサルタント事業の実施件数は11件である。
畜産コンサルタントによつて的確に経営分析され、具体的な助言指導が実施された。

11 家畜の改良と増殖

(1) ブロック別家畜登録状況(令和2年度)

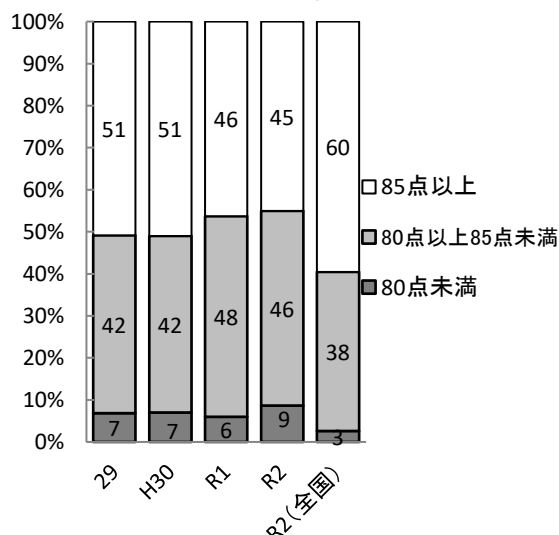
ホルスタイン登録			和牛登録			種豚登録		
取扱団体	登録数	血液型検査等	分室	登録数	遺伝子型検査等	地域	登録数	県外への移動等
岐阜酪農組合	116	436	美濃事業分室	2,364	1,392	岐阜地域	0	0
羽島市	41					西濃地域	0	
海津市	1		郡上事業分室	784		中濃地域	0	
美濃酪連	300					東濃地域	0	
飛騨酪農協	170		飛騨事業分室	5,723		飛騨地域	0	
飛騨市	0							
個人	8							

資料：(一社)岐阜県畜産協会

令和2年度家畜登録件数は、ホルスタイン1,072件、和牛10,263件、豚0件の合計11,335件であった。前年に比べると、ホルスタインが45件の増加、和牛が538件の増加であった。
血統登録(ホルスタイン)が1.9%の増加、基本・本原登録(和牛)が21%の増加であった。

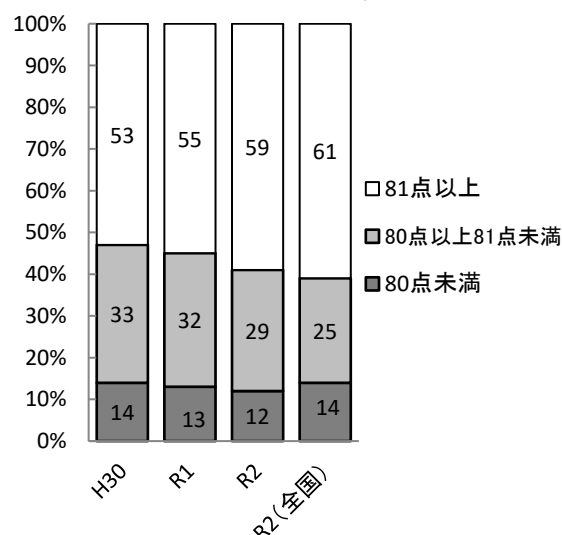
(2) 得点別登録状況

ホルスタイン牛群審査



* 全国データ：(一社)日本ホルスタイン登録協会、(公社)全国和牛登録協会

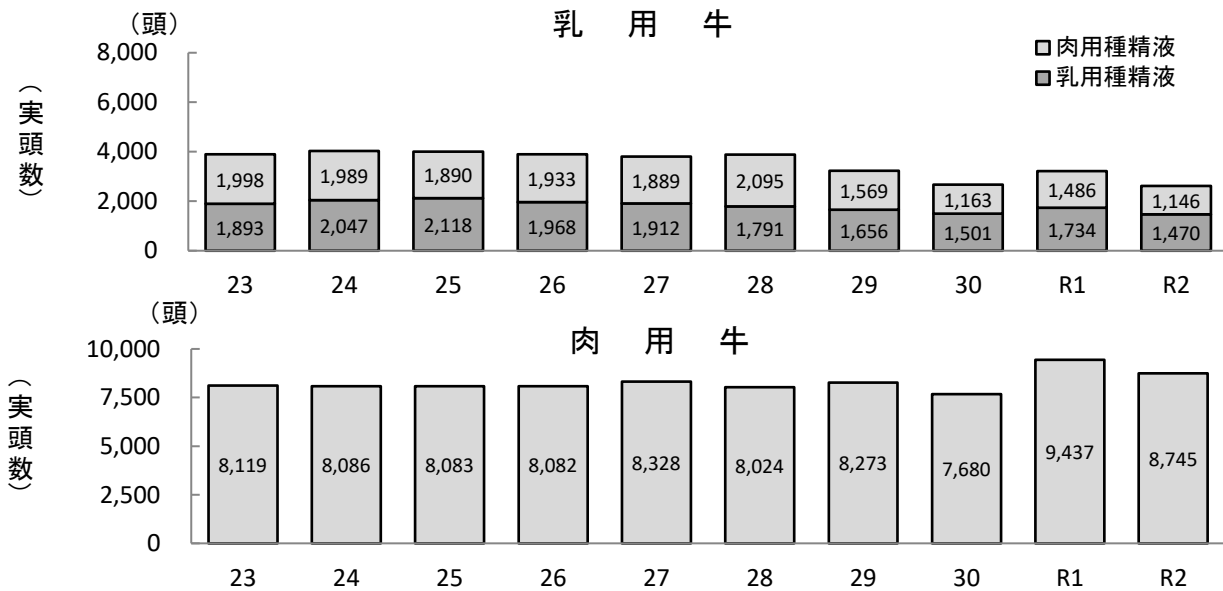
和牛基本・本原登録



資料：(一社)岐阜県畜産協会

令和2年度の体型得点は、ホルスタインが80点以上91%、和牛では80点以上が88%を占めている。

(3) 人工授精頭数の推移



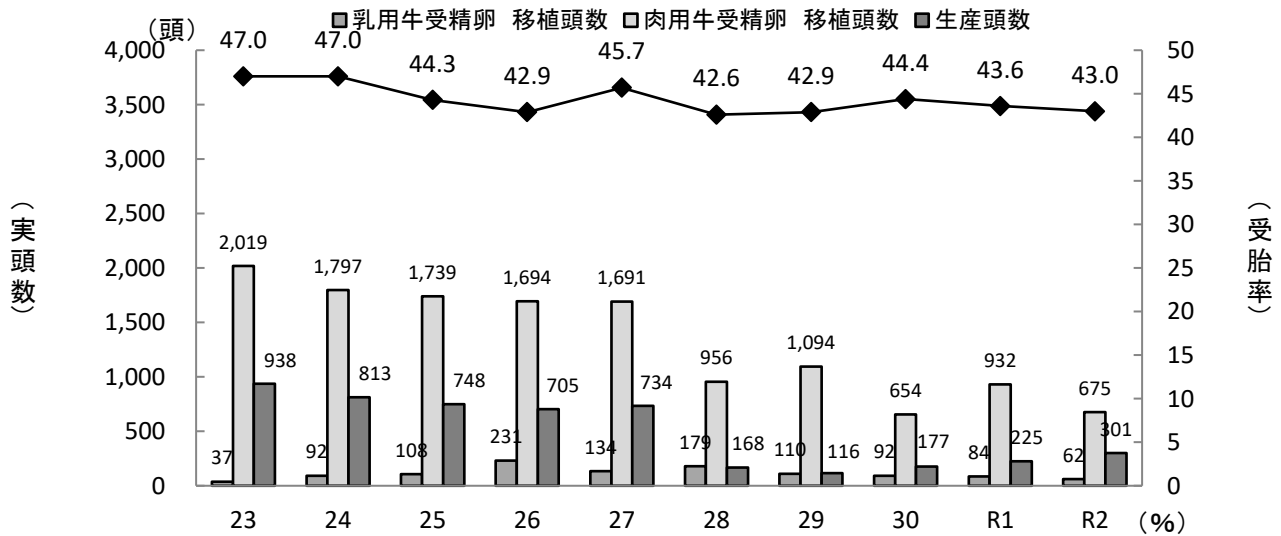
資料: 県家畜防疫対策課

乳用牛、肉用牛ともに減少

令和2年度の人工授精頭数は、乳用牛では総頭数が2,616頭であり、前年に比べて肉用種精液及び乳用種精液による授精頭数はともに減少した。

肉用牛では総頭数が8,745頭であり、前年と比較して減少した。

(4) 受精卵移植成績の推移



資料: 県家畜防疫対策課

移植頭数は減少した一方で生産頭数は増加、受胎率は横ばい

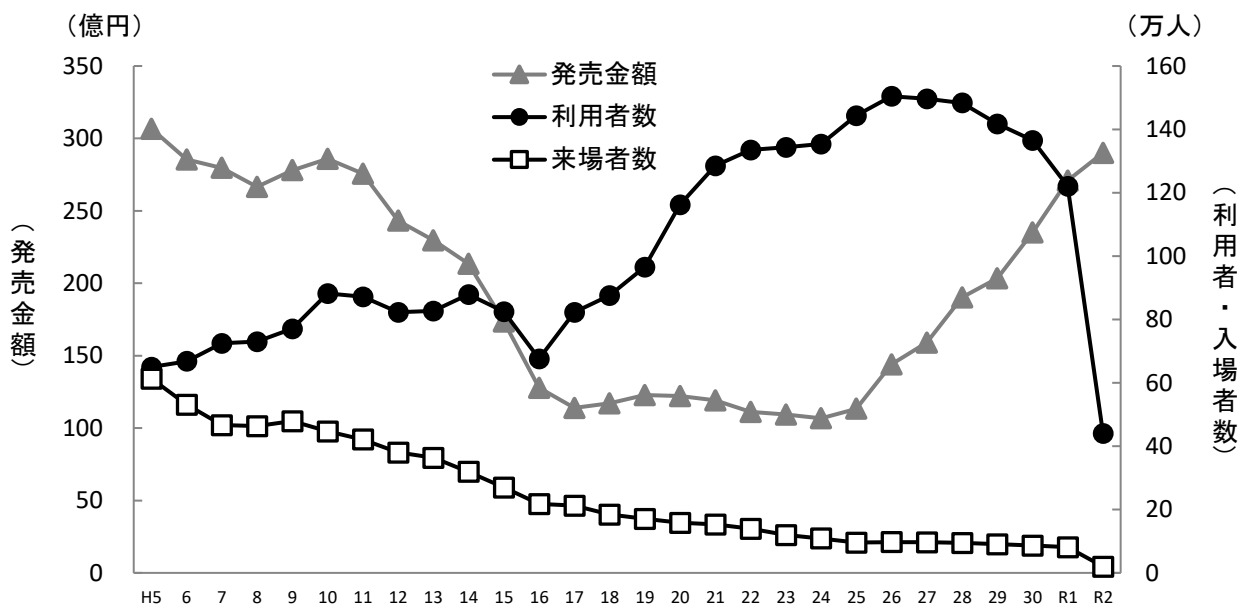
令和2年度体内受精卵移植頭数は、741頭(乳用牛受精卵62頭、肉用牛受精卵675頭、F1受精卵4頭)で、対前年比73%であった。乳用牛受精卵は、乳用牛62頭に移植し、肉用牛受精卵は、乳用牛204頭、肉用牛340頭、F1 131頭に移植した。

採卵実績は、正常卵が令和元年度1,863卵(乳用牛206卵、肉用牛1,657卵)に対し、令和2年度は、1,235卵(乳用牛200卵、肉用牛1,035卵)であった。

受胎率は令和元年度が43.6%であったのに対し、令和2年度は43.0%と横ばい、生産頭数は令和元年度が225頭であったのに対し、令和2年度は301頭と増加した。

12 競 馬

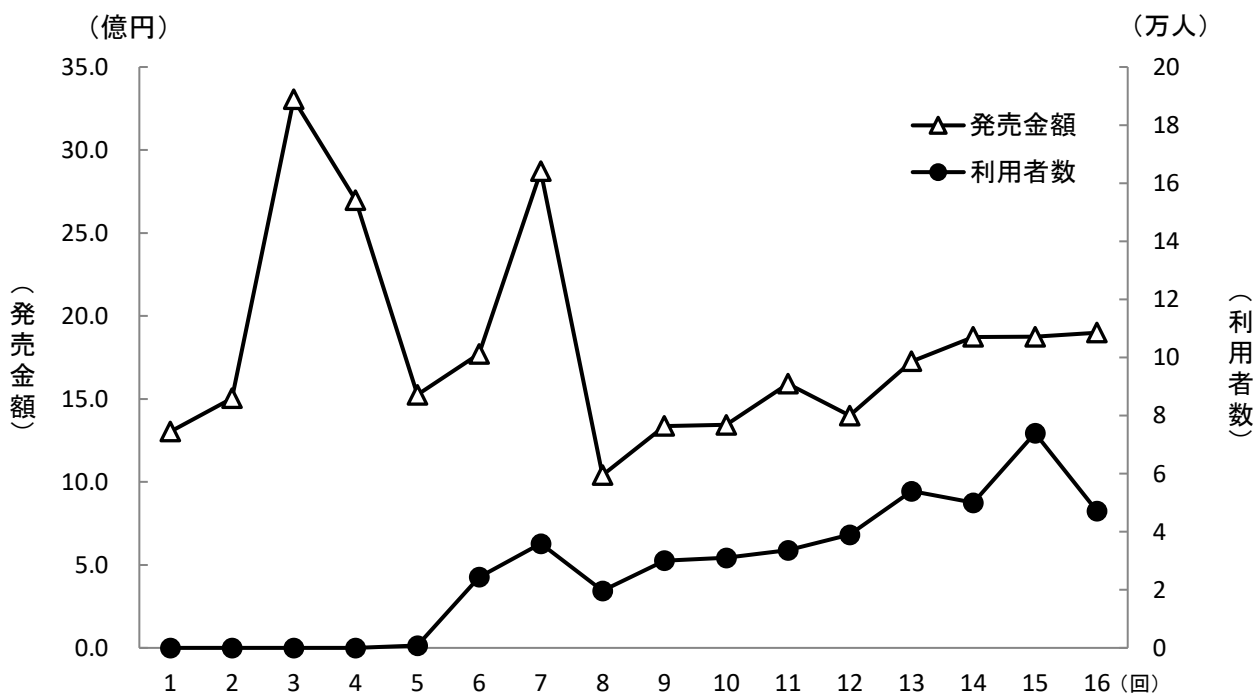
競馬事業成績の推移



注1: 来場者数には、シアター恵那入場者数を含まない
 注2: 利用者数は、インターネット利用者等を含まない

資料: 県農政課笠松競馬支援室

令和2年度 開催別成績



資料: 県農政課笠松競馬支援室

注3: 令和2年度第1回～第8回開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため無観客開催。
 (第5回から一部場外発売再開。)

注4: 令和2年度第17回～第21回開催は関係者による不適切事案への対応および公正確保のため、開催自粛。

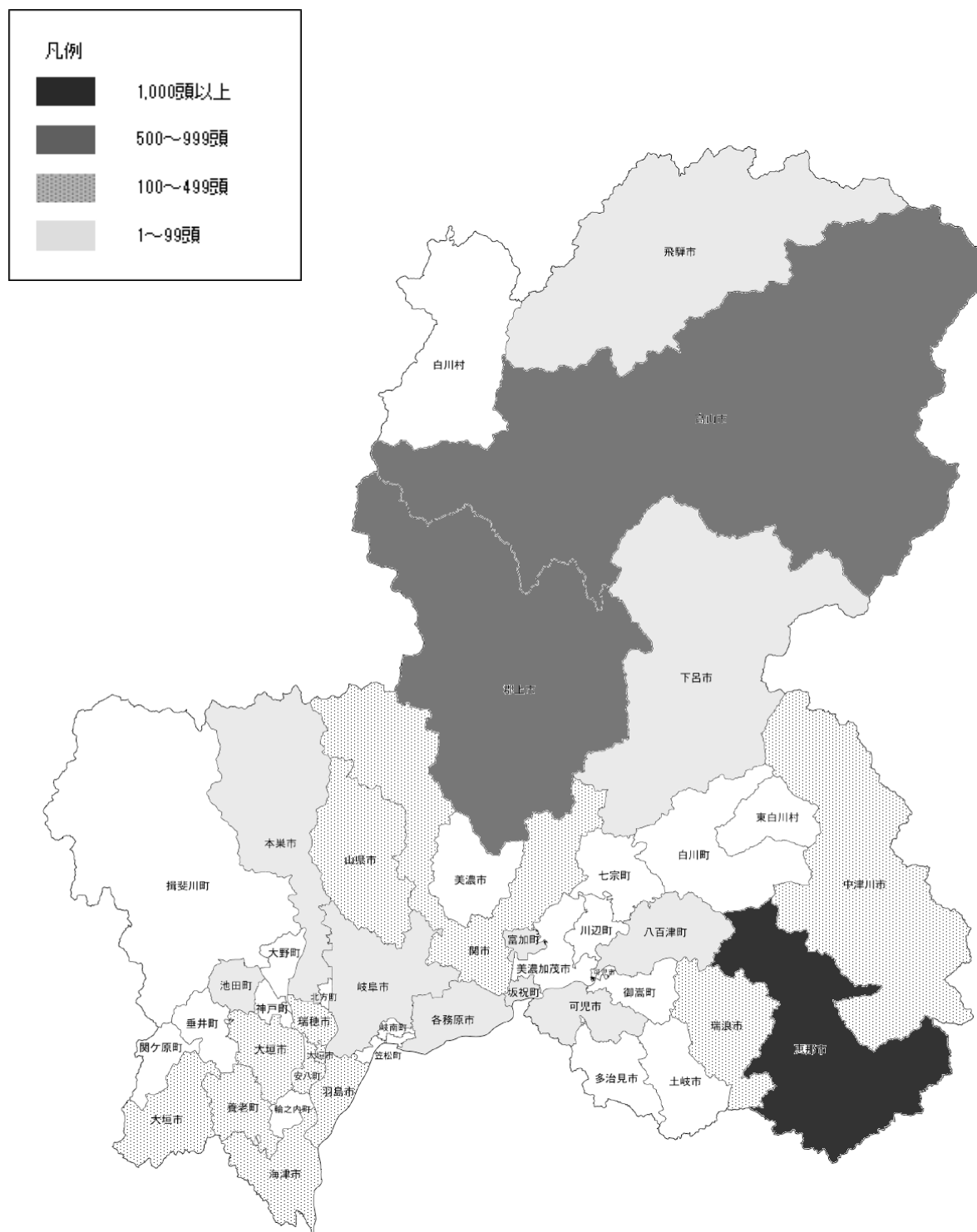
発売金額は前年に比べ増加

岐阜県地方競馬組合は、令和2年度に16回72日開催した。利用者数は439,378人で前年に比べ64.0%減少、発売金額は約291億円で前年に比べ7.3%増加した。

Ⅱ 畜種別の動向

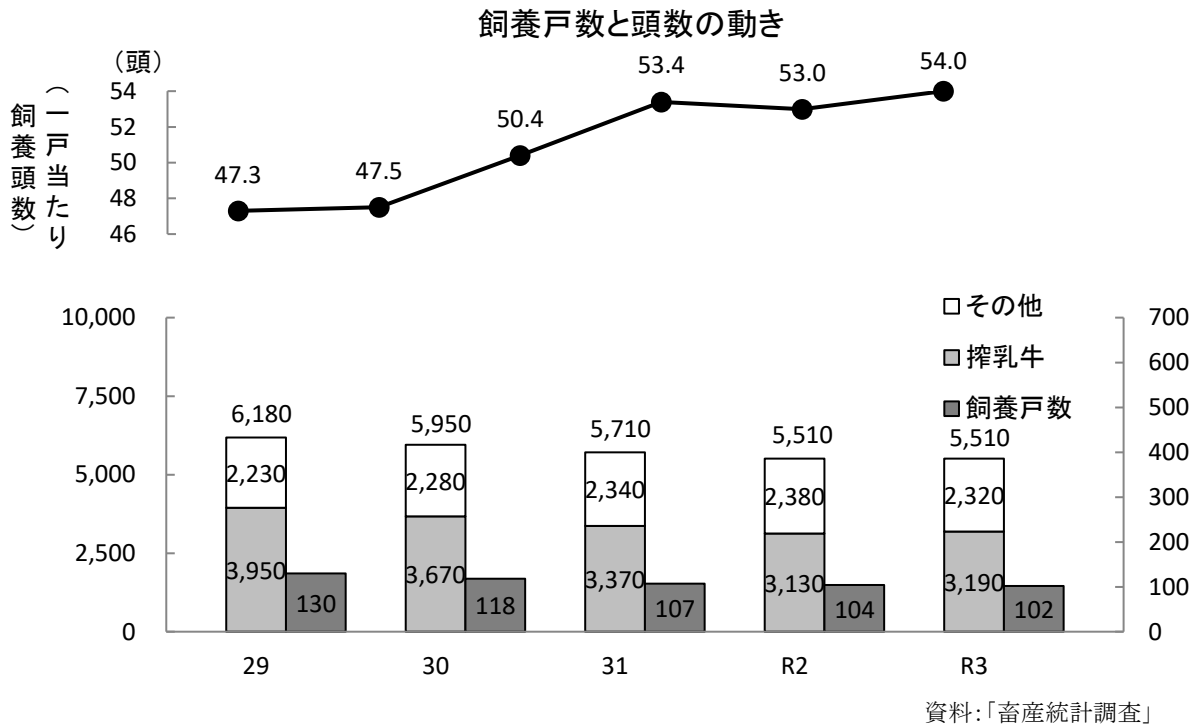
1 乳用牛

(1) 乳用牛の飼養頭数の分布(令和3年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

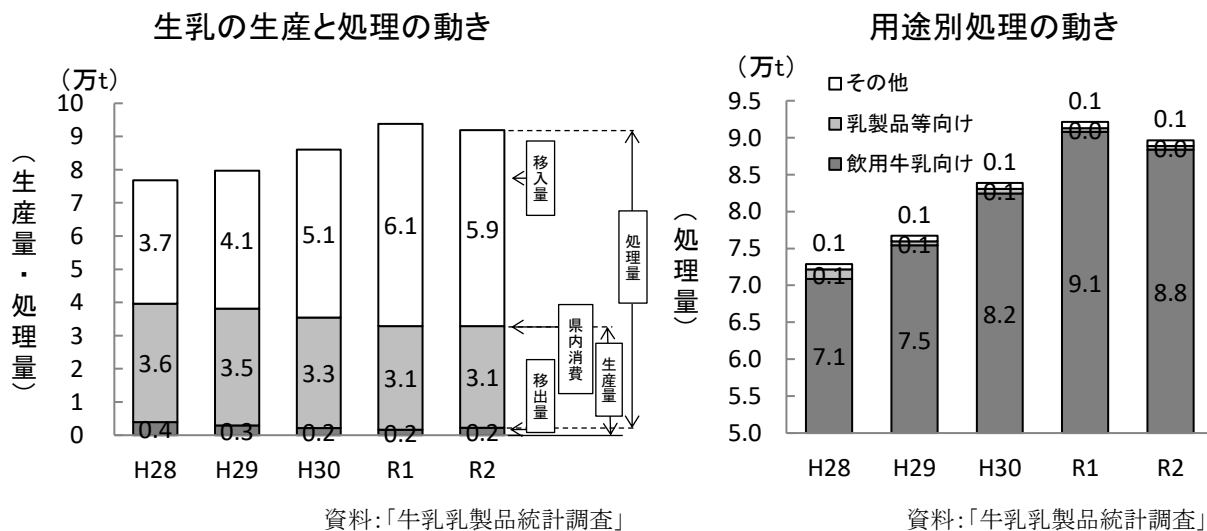
(2) 乳用牛の飼養戸数と頭数



飼養戸数は減少、1戸当たり頭数は増加

令和3年2月1日現在の飼養戸数は102戸で、前年に比べ1.9%減少した。また飼養頭数は5,510頭で前年と同数となった。1戸当たり飼養頭数は54.0頭と前年に比べ1.9%増加した。飼養頭数のうち搾乳牛頭数は3,190頭で、前年に比べ1.9%増加した。飼養頭数に占める搾乳牛頭数の割合は、57.9%で全国の53.5%に比べ高い割合となっている。

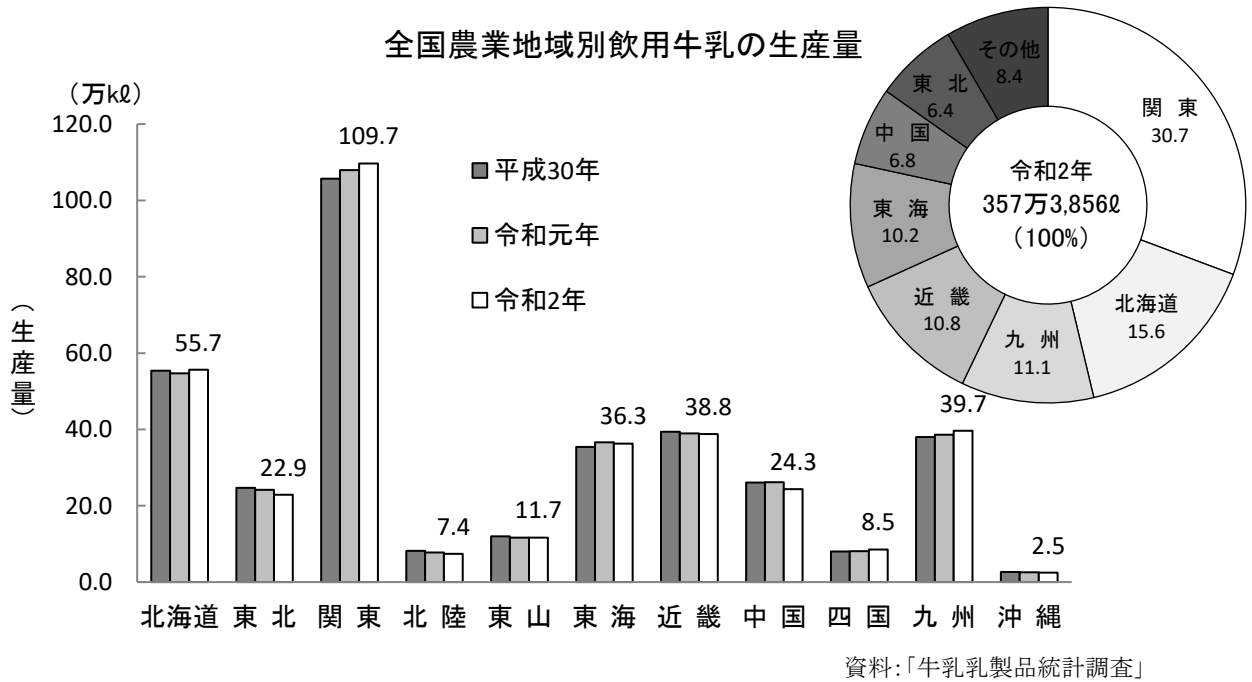
(3) 生乳の生産と処理量



生乳生産量は昨年と同程度を維持

令和2年の生乳の生産量は、3万2,840tで前年と同程度であった。処理量は、8万9,641tで前年に比べ2.7%減少した。用途別処理量は、飲用牛乳向けが8万8,385tで前年に比べ2.7%減少した。乳製品等向け処理量が492t、その他が764tであった。この結果、飲用牛乳向け比率は、98.6%となった。

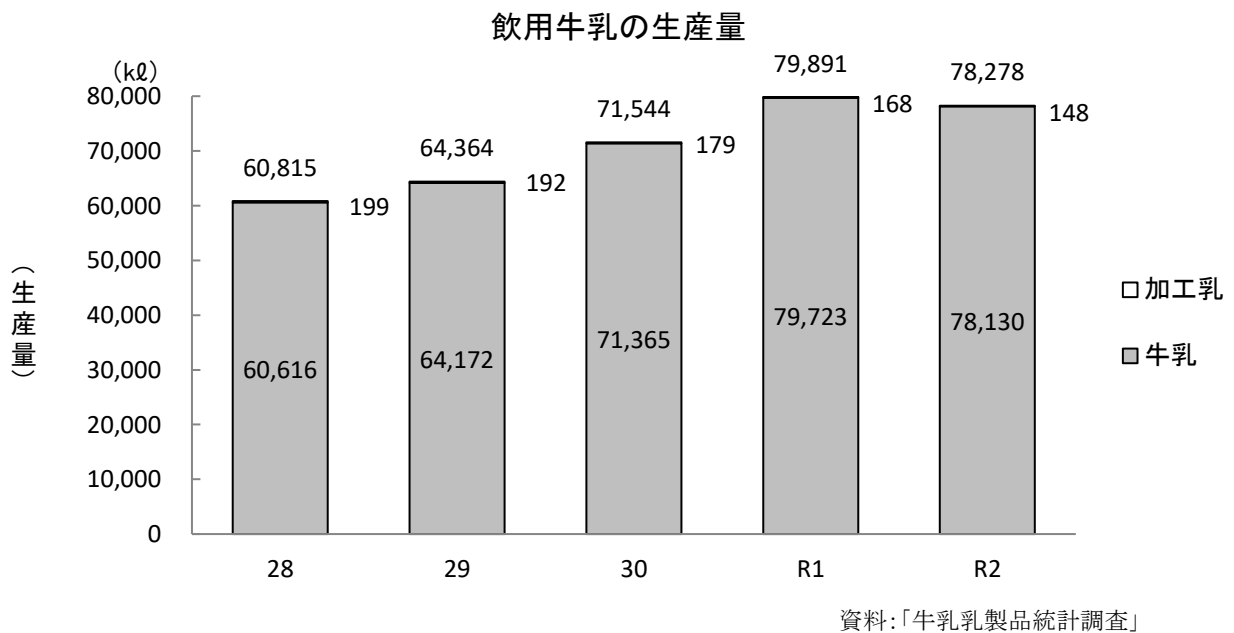
(4) 全国の飲用牛乳の生産



飲用牛乳の生産量は増加

令和2年の全国の飲用牛乳生産量は357万3,856kℓとなり、前年より増加した。地域別の生産量は、大消費地を抱える関東地域が最も多く、次いで北海道、九州の順となっている。

(5) 飲用牛乳の生産

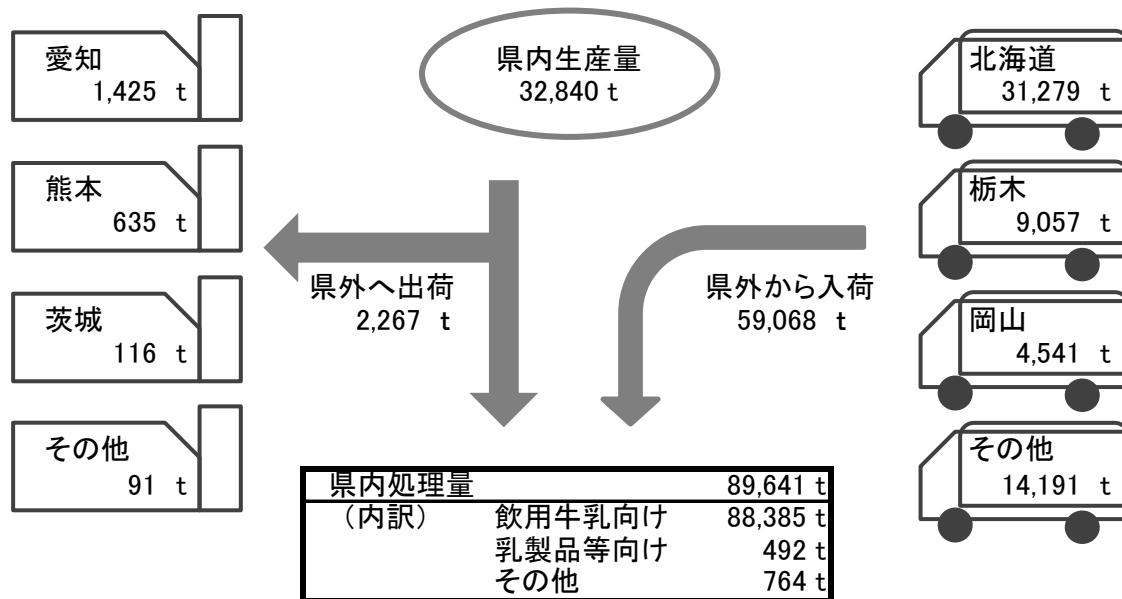


飲用牛乳の生産量は減少

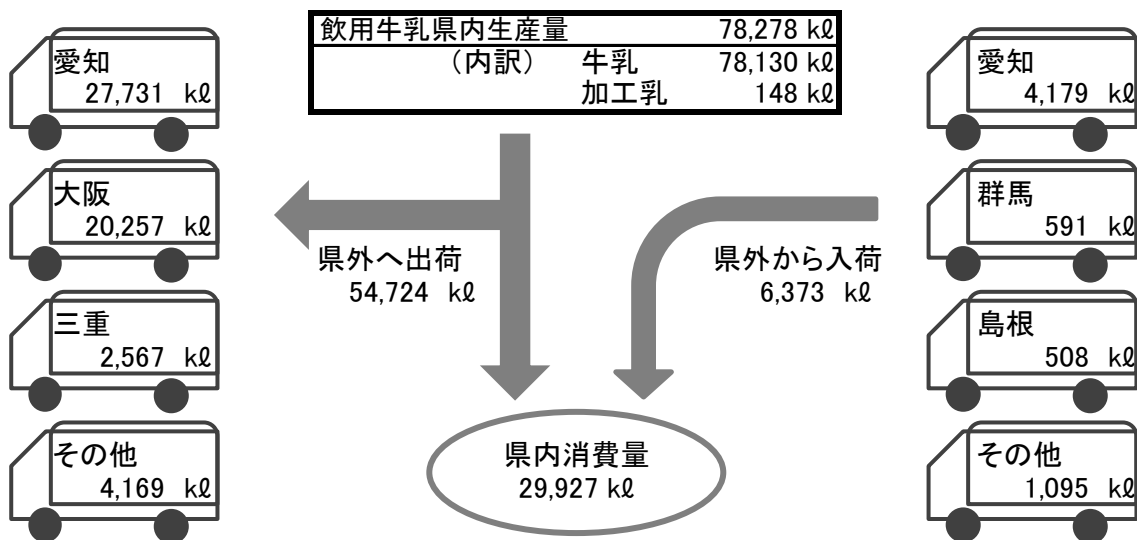
令和2年の飲用牛乳の生産量は、7万8,278kℓで前年に比べ2.0%減少した。このうち牛乳は、7万8,130kℓで2.0%減少し、加工乳は148kℓで11.9%減少した。

(6) 生乳と飲用牛乳の流通

生乳の流通経路(令和2年1月～令和2年12月)



飲用牛乳の流通経路(令和2年1月～令和2年12月)



*「県内消費量」=「県内生産量」+「入荷量」-「出荷量」

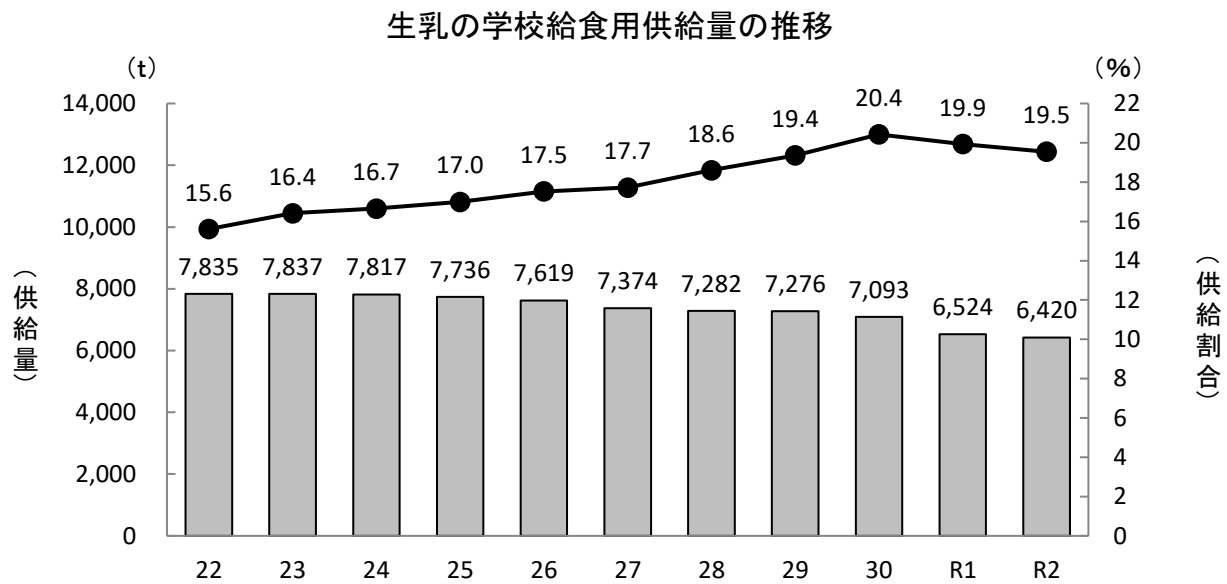
資料:「牛乳乳製品統計調査」

生乳の処理量は増加

令和2年に県内処理工場へ搬入された生乳は、県内で生産されたもの3万2,840tのうち93.1%に当たる3万573tと県外からの移入量5万9,068tを加えた8万9,641tが処理された。処理量は、前年に比べ2.7%減少した。

また、県内の飲用牛乳の消費量は、2万9,927kℓで前年に比べ0.7%減少した。

(7)生乳の学校給食用供給量の推移



資料: 県畜産振興課「学校給食用牛乳供給事業調査」

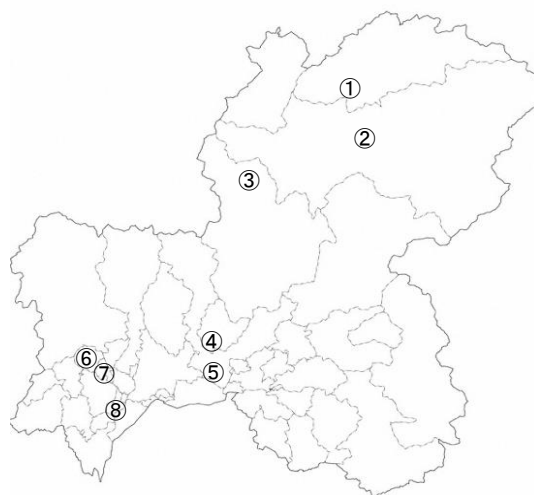
供給量は減少、供給割合はわずかに減少

令和2年度生乳の学校給食用供給量は、新型コロナによる夏休み延長、分散登校及びオンライン授業の影響により、前年度比1.6%減の6,420tと減少した。また、生乳の総生産量に対する供給割合は、19.5%と下降した。(令和2年度県内生乳生産量 32,852t)

(8)県内の学校給食用牛乳供給乳業工場

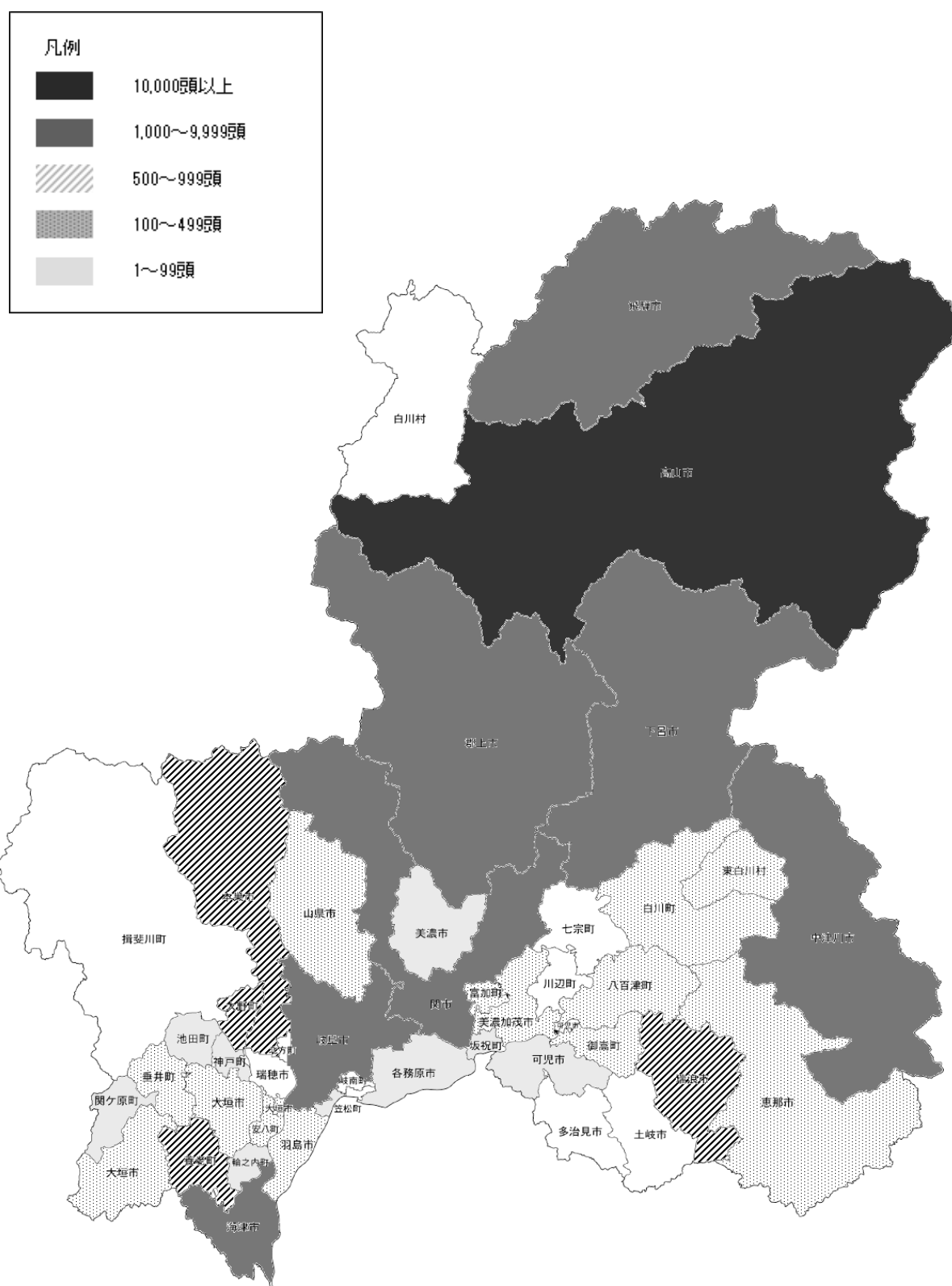
	工場名	〒	所在地	電話番号	FAX番号
①	(有)牧成舎	509-4242	飛騨市古川町増島町17-8	0577-73-2226	0577-73-4763
②	飛騨酪農農業協同組合	506-0035	高山市新宮町3369	0577-32-0208	0577-32-0315
③	(株)たかすファーマーズ	501-5301	郡上市高鷲町ひるがの4670-233	0575-73-1022	0575-73-1023
④	美濃酪農農業協同組合連合会北濃工場	501-3756	美濃市生櫛472	0575-33-4455	0575-35-1262
⑤	関牛乳(株)	501-3835	関市観音前41	0575-22-0402	0575-22-3043
⑥	(株)棚橋牧場	503-2424	揖斐郡池田町池野470	0585-45-2155	0585-45-7805
⑦	東海牛乳(株)	503-2304	安八郡神戸町丈六道66	0584-27-4131	0584-27-7511
⑧	グリコミュファクチャリングジャパン(株)	503-0123	安八郡安八町南條1201	0584-64-2345	0584-64-4511

資料: 県畜産振興課



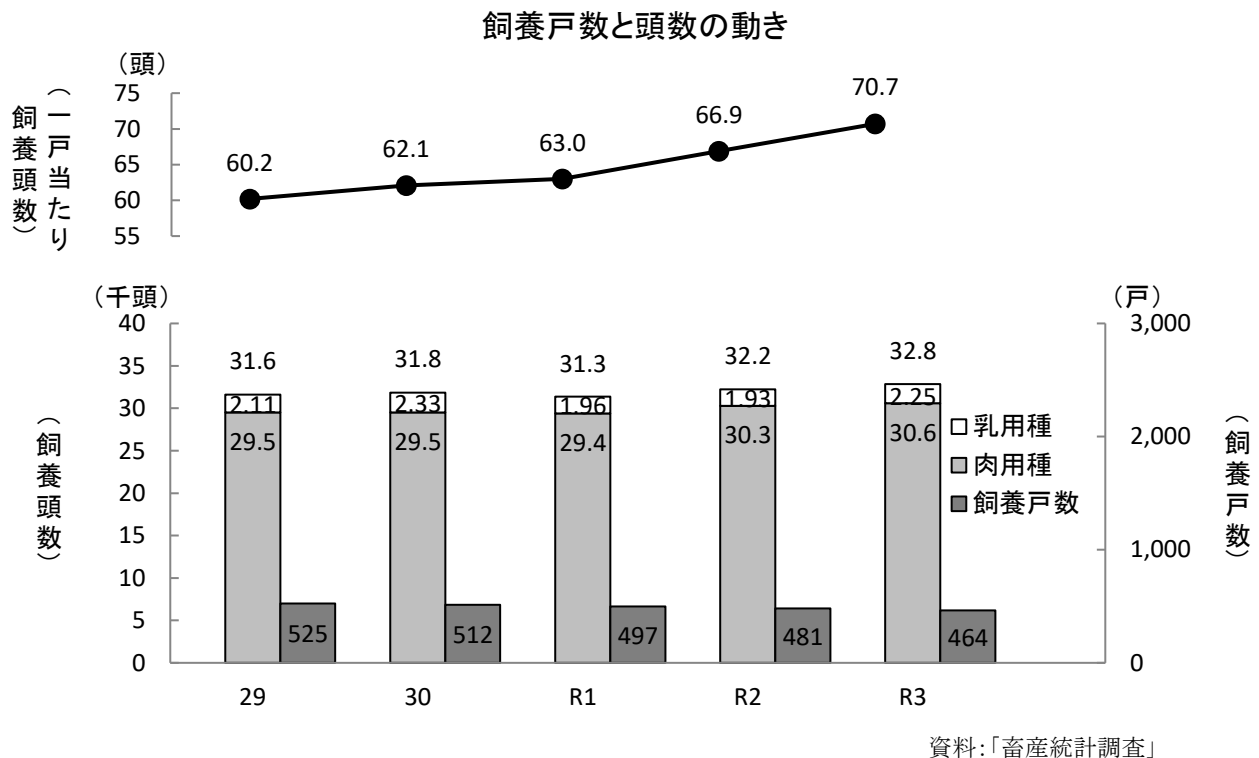
2 肉用牛

(1)肉用牛の飼養頭数の分布(令和3年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

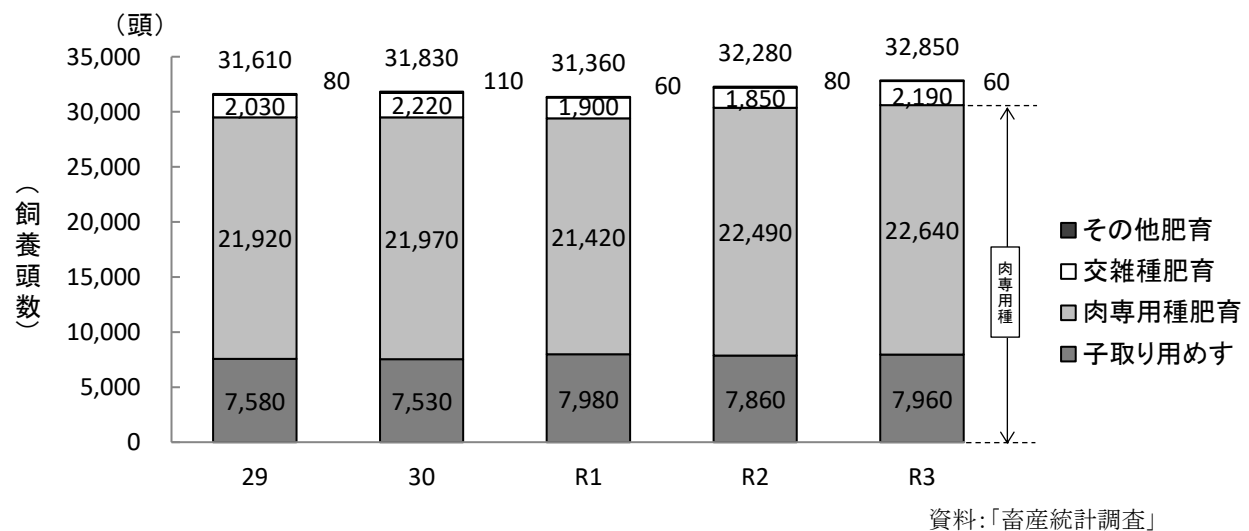
(2) 肉用牛の飼養戸数と頭数



飼養戸数はやや減少、1戸当たり頭数は増加

令和3年2月1日現在の飼養戸数は464戸で、前年に比べ3.5%減少した。
 また、飼養頭数は3万2,800頭で、前年に比べ1.9%増加した。種別別にみると、肉用種は3万600頭で前年に比べ1.0%増加した。乳用種は2,250頭で前年に比べ16.6%増加した。1戸当たり飼養頭数は70.7頭で、前年に比べ5.7%増加した。

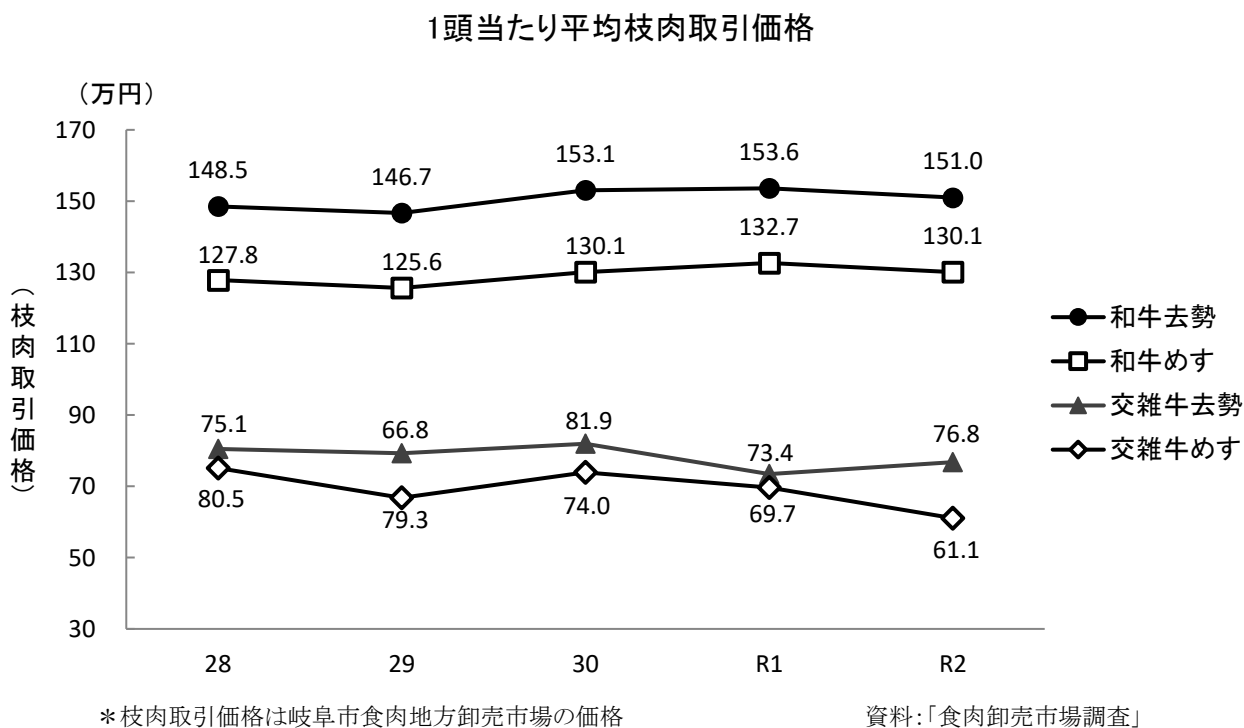
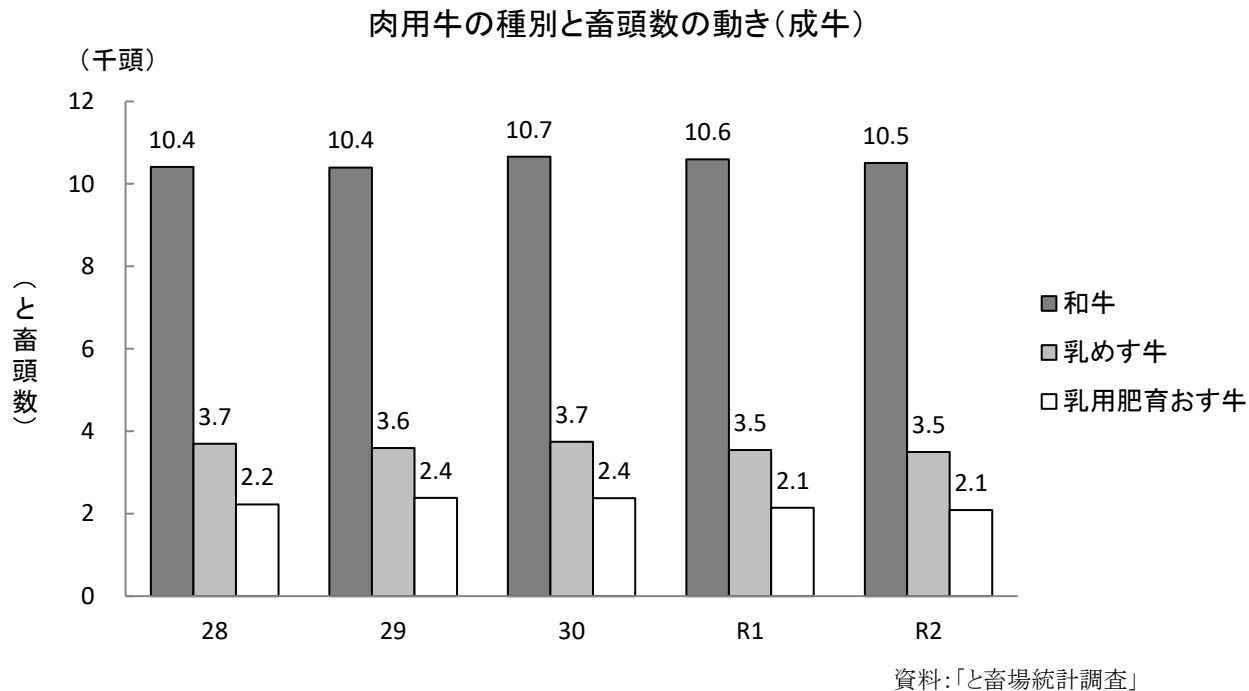
(3) 肉用牛の種別飼養頭数



子取り用めす牛、交雑種肥育牛の飼養頭数はやや増加

子取り用めす牛飼養頭数は7,960頭で、前年に比べ1.3%増加した。また、交雑種肥育牛頭数は2,190頭で、18.4%増加した。

(4) 肉用牛のと畜頭数と取引価格



肉用牛のと畜頭数、和牛の1頭当たり枝肉取引価格は減少

令和2年の肉用牛のと畜頭数は1万6,334頭で、前年に比べ0.3%減少した。これを畜種別にみると、和牛では0.8%、乳めす牛では1.4%、乳用肥育おす牛では2.4%減少した。

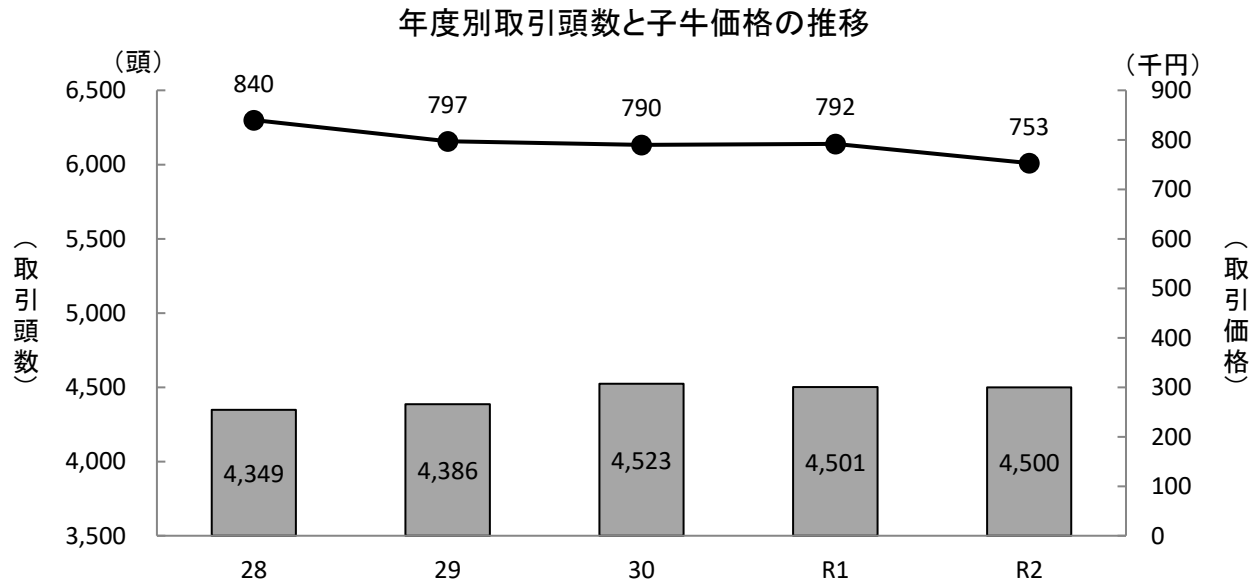
1頭当たりの平均枝肉取引価格は、和牛去勢150万9,754円、和牛めす130万641円、交雑牛去勢76万8,000円、交雑牛めす61万696円で、前年に比べ交雑牛去勢は4.6%増加したものの、和牛去勢は1.7%、和牛めすは2.0%、交雑牛めすは12.4%といずれも減少した。

(5) 県内の子牛市場

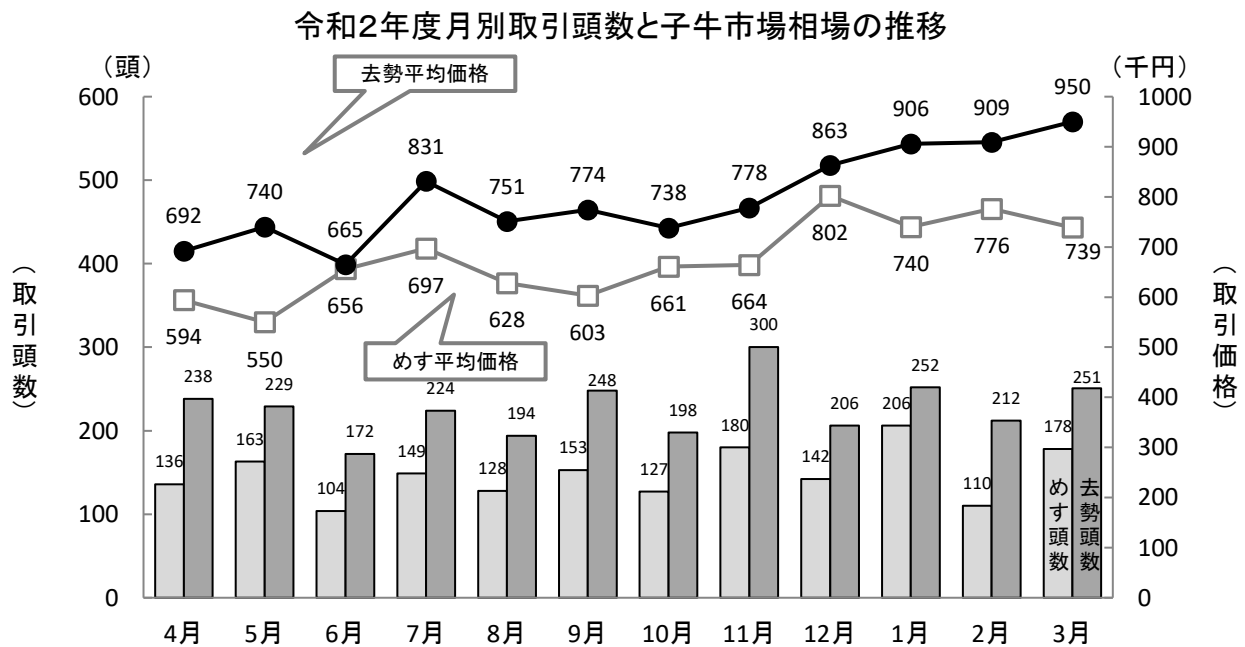
市場名	〒	所在地	令和2年度年間取引頭数
飛騨家畜市場	506-0001	高山市冬頭町597	2,533 頭
関家畜市場	501-3928	関市西田原字大河原441	1,967 頭

資料: (独) 農畜産業振興機構

(6) 肉用子牛価格



資料: (独) 農畜産業振興機構



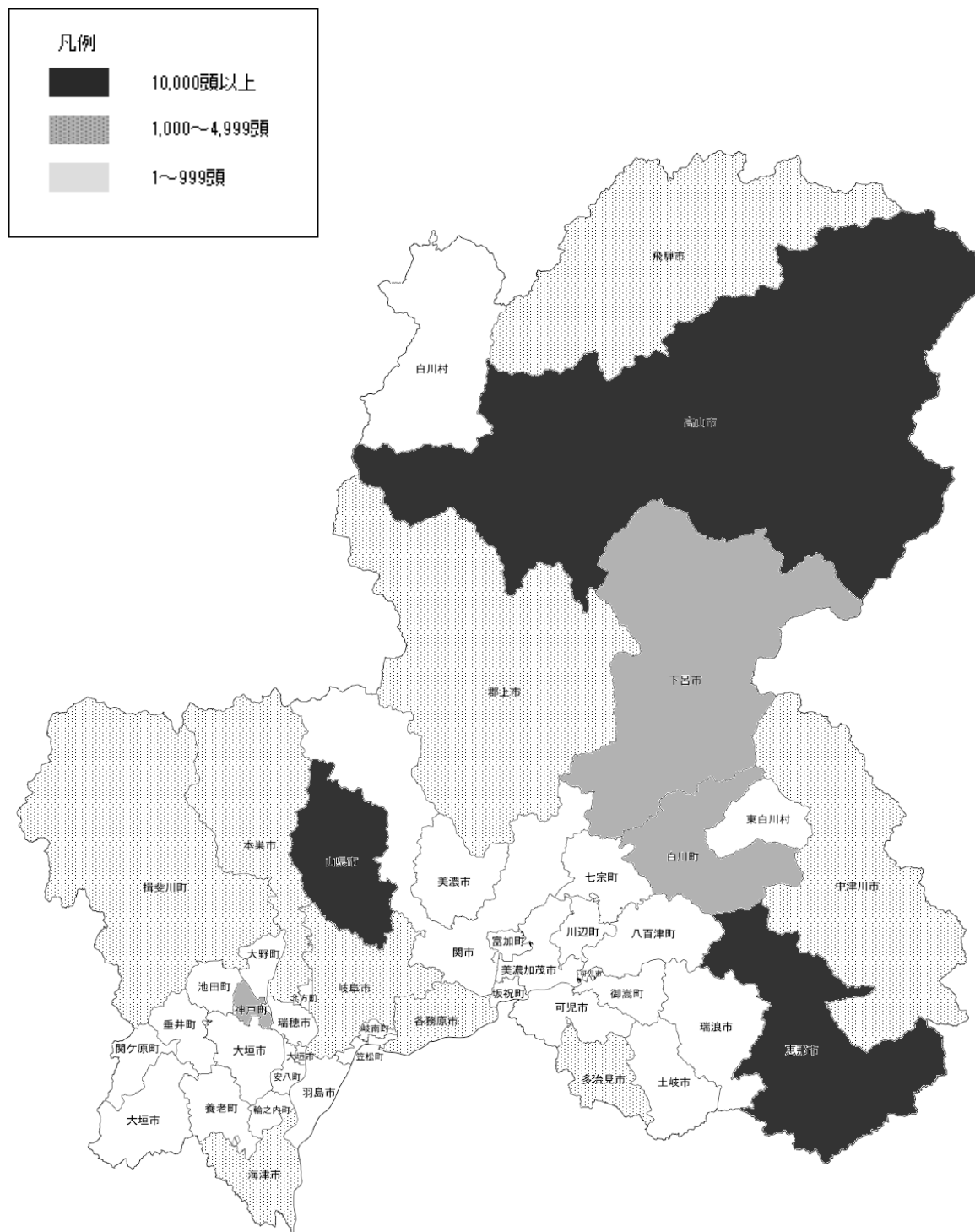
資料: (独) 農畜産業振興機構

肉用子牛の取引頭数は減少、取引価格は低下

令和2年度の岐阜県内子牛市場の取引頭数は4,500頭で、前年と同程度であった。肉用子牛価格については753千円で、前年に比べて4.9%(3万9千円)低下した。

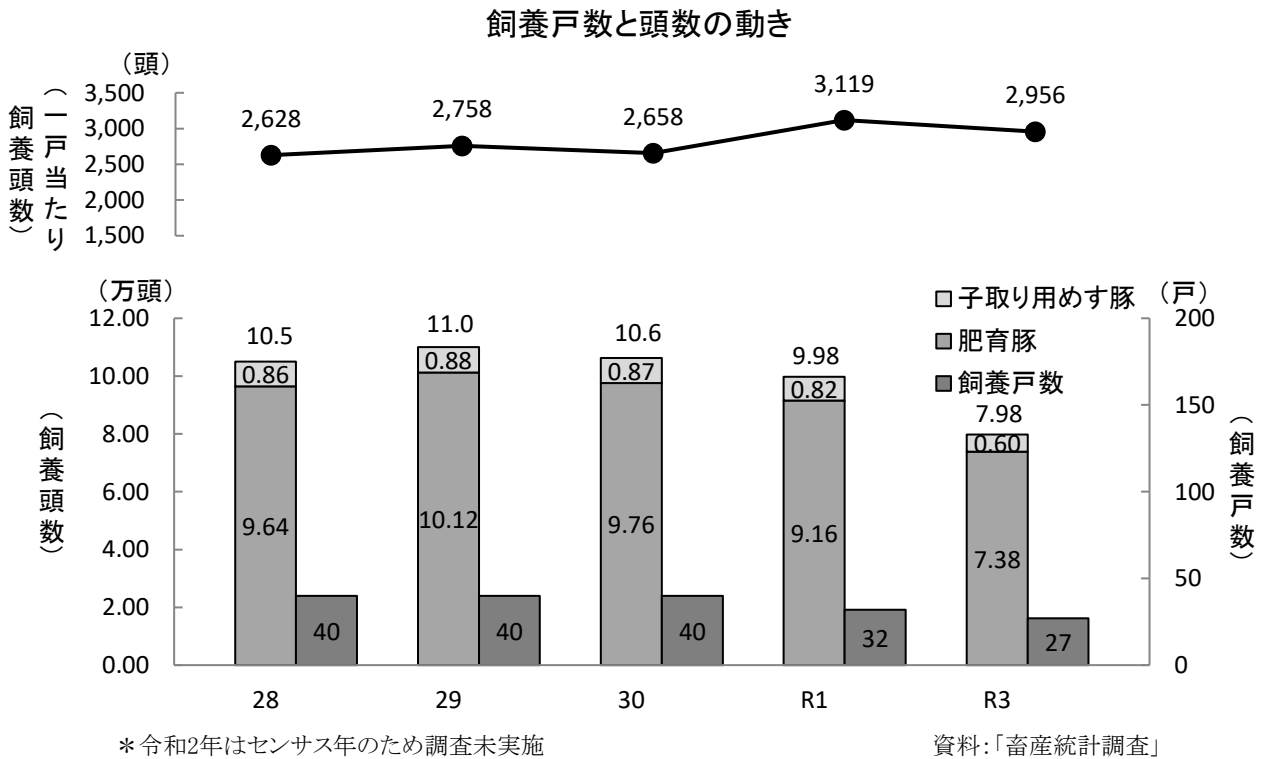
3 豚

(1) 豚の飼養頭数の分布(令和3年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

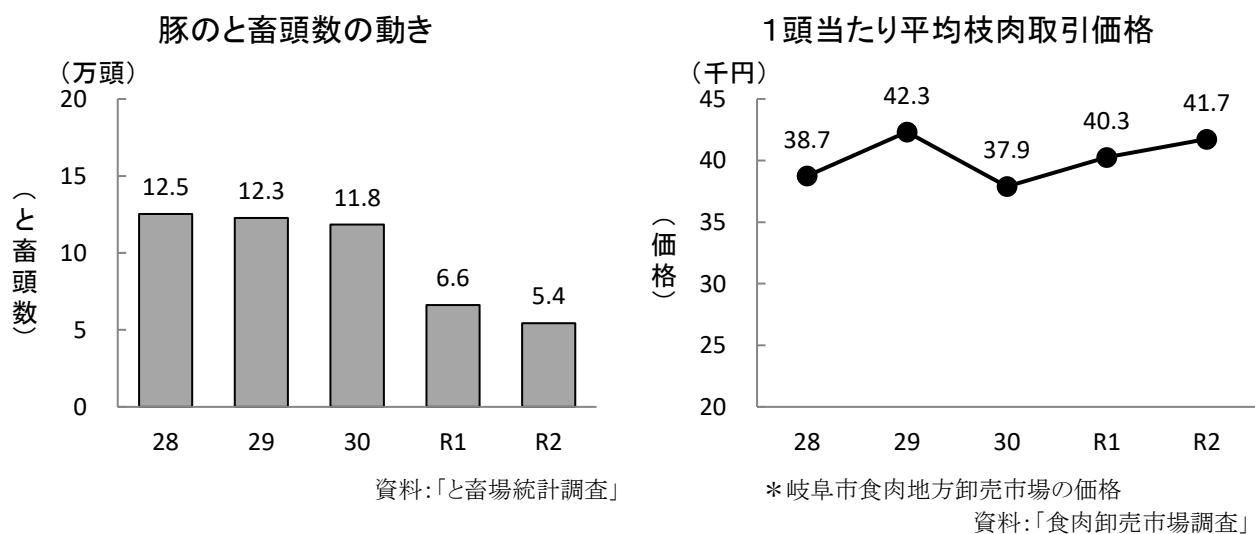
(2) 豚の飼養戸数と頭数



飼養戸数、飼養頭数、1戸当たり頭数は共に減少

令和3年2月1日現在の飼養戸数は27戸で減少、飼養頭数は7万9,800頭で20.0%減少した。
1戸当たりの飼養頭数は2,956頭で、前年に比べ5.2%減少したが、全国の1戸当たりの飼養頭数2,413頭を上回っている。

(3) 豚のと畜頭数と取引価格

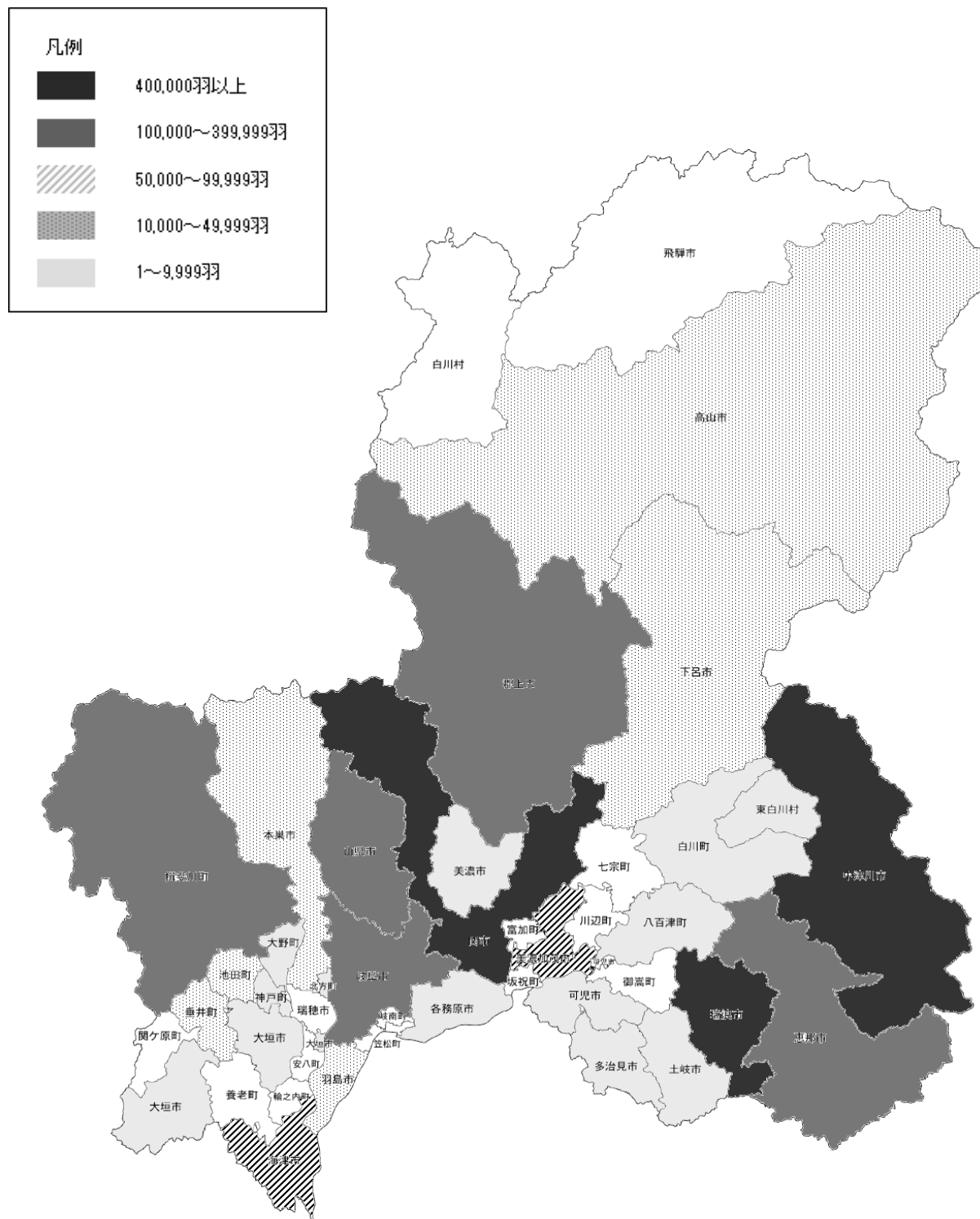


1頭当たり枝肉取引価格は増加

令和2年の豚のと畜頭数は5万4,372頭、肉豚1頭当たり平均価格は4万1,742円で、前年と比べて3.7%増加した。

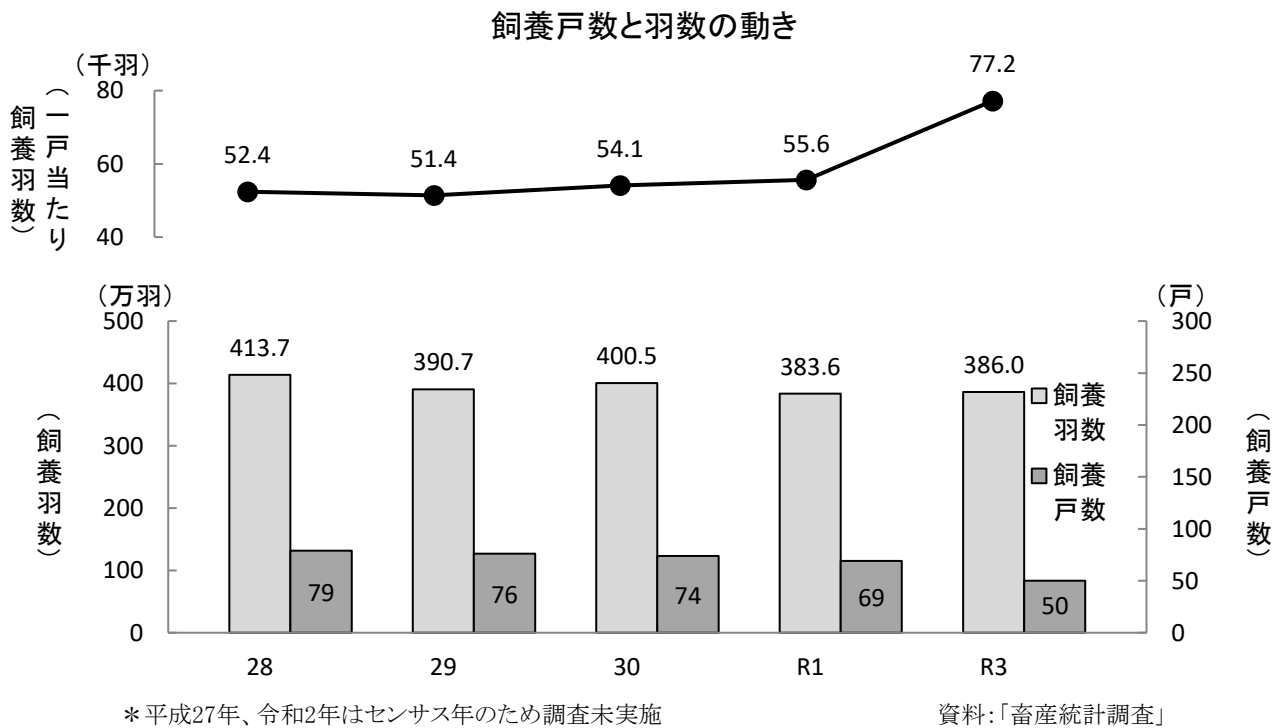
4 採卵鶏・ブロイラー

(1) 採卵鶏の飼養羽数の分布(令和3年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

(2) 採卵鶏の飼養戸数と羽数

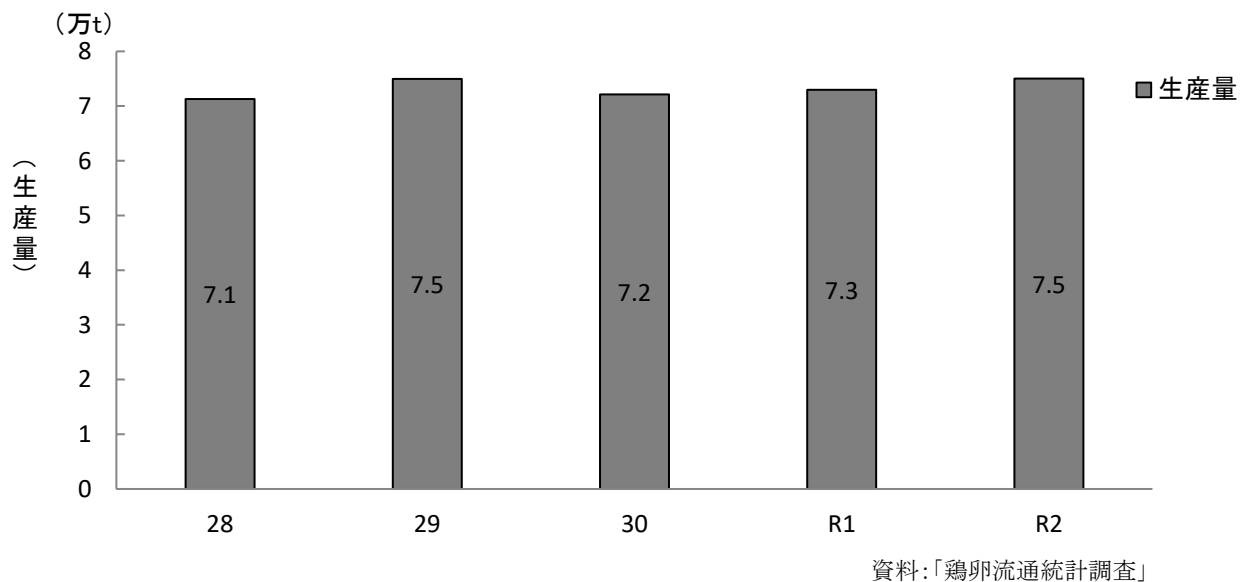


飼養戸数は減少、飼養羽数及び1戸当たり羽数は増加

令和3年2月1日現在の飼養戸数(種鶏のみの飼養者を除く)は50戸で、前年に比べ27.5%減少した。成鶏めす飼養羽数(種鶏を除く)は466万9,000羽で、21.7%増加した。

なお、1戸当たり成鶏めす羽数は7万7,200羽で、前年に比べ38.8%増加した。全国の1戸当たり成鶏めす羽数は、7万4,800羽で11.8%増加した。

(3) 鶏卵の生産量

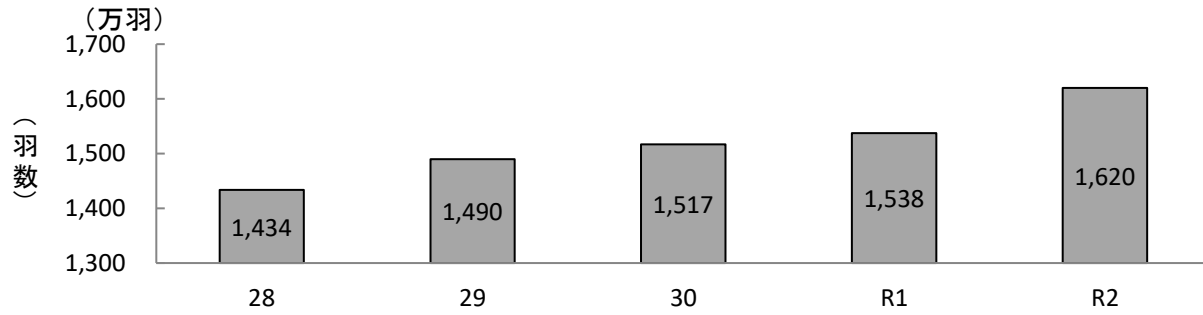


生産量はわずかに増加

令和2年次の鶏卵生産量は7万5,185tで、前年と比べて3.0%増加した。

(4) 採卵用ひな出荷羽数

県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数の動き

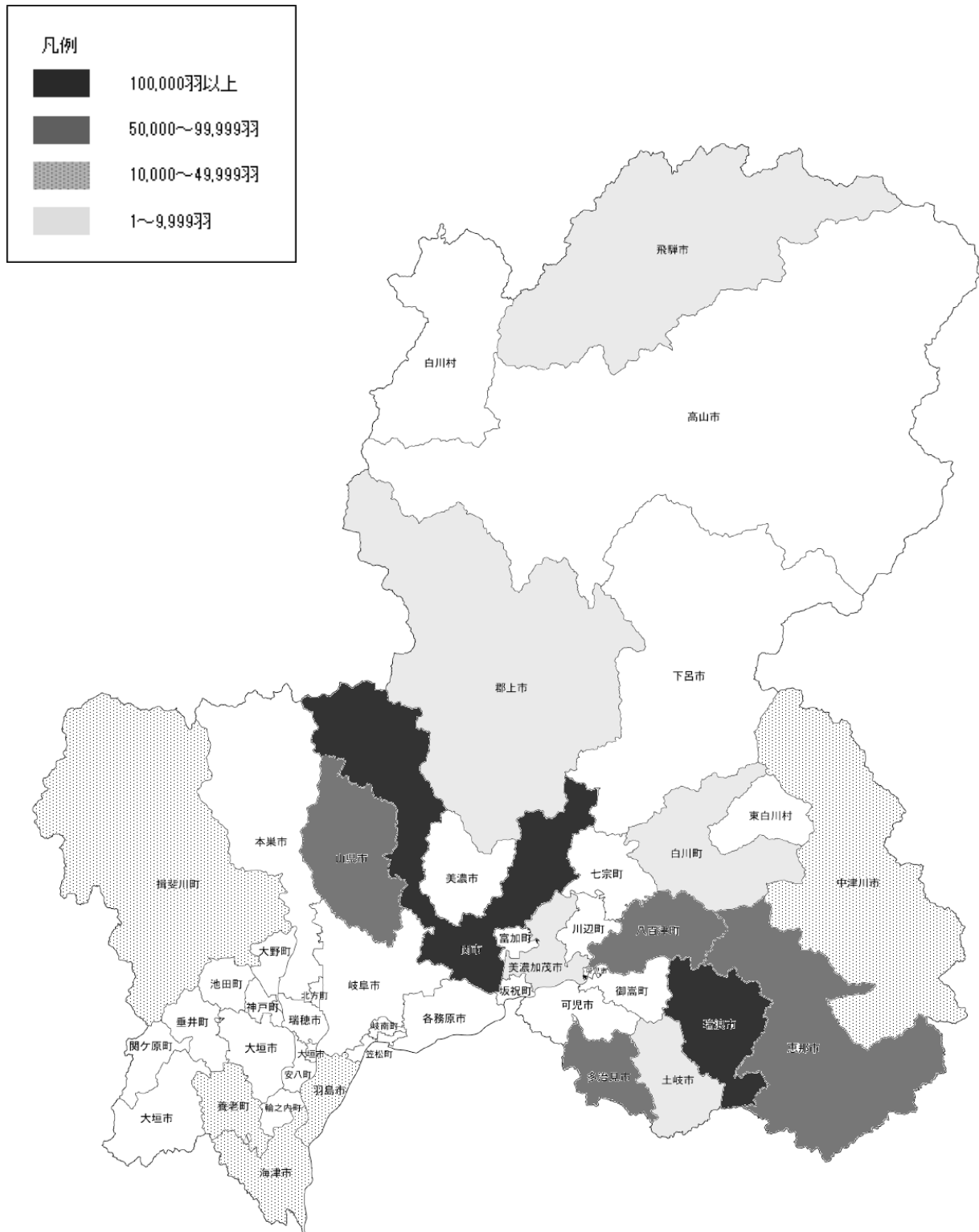


資料: 県畜産振興課

採卵用ひな出荷羽数は増加

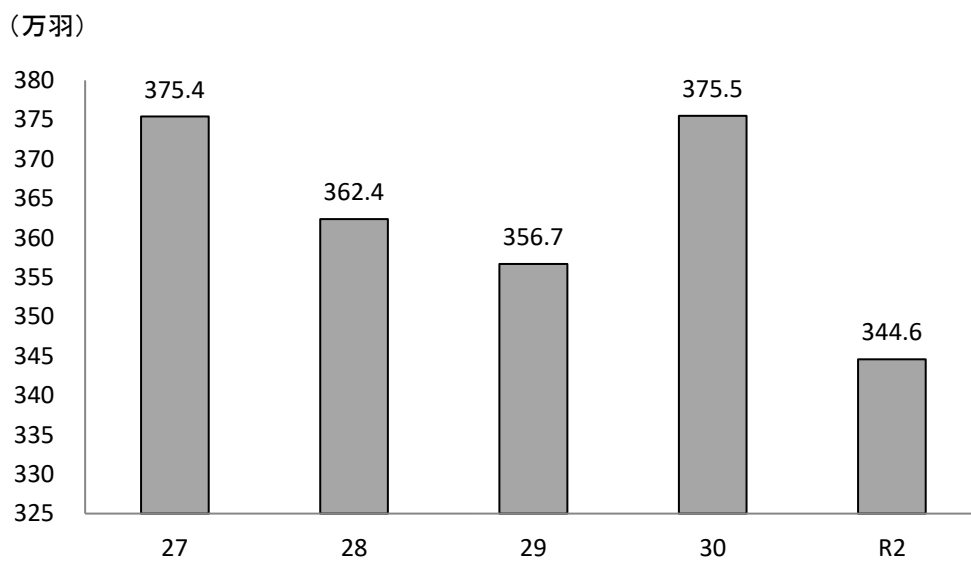
県内登録ふ化業者の採卵用ひな出荷羽数は、1,620万羽であり前年に比べ5.4%増加した。

(5)ブロイラーの飼養羽数の分布(令和3年2月1日現在)



資料: 県畜産振興課

(6)ブロイラーの出荷羽数



資料:「畜産統計調査」

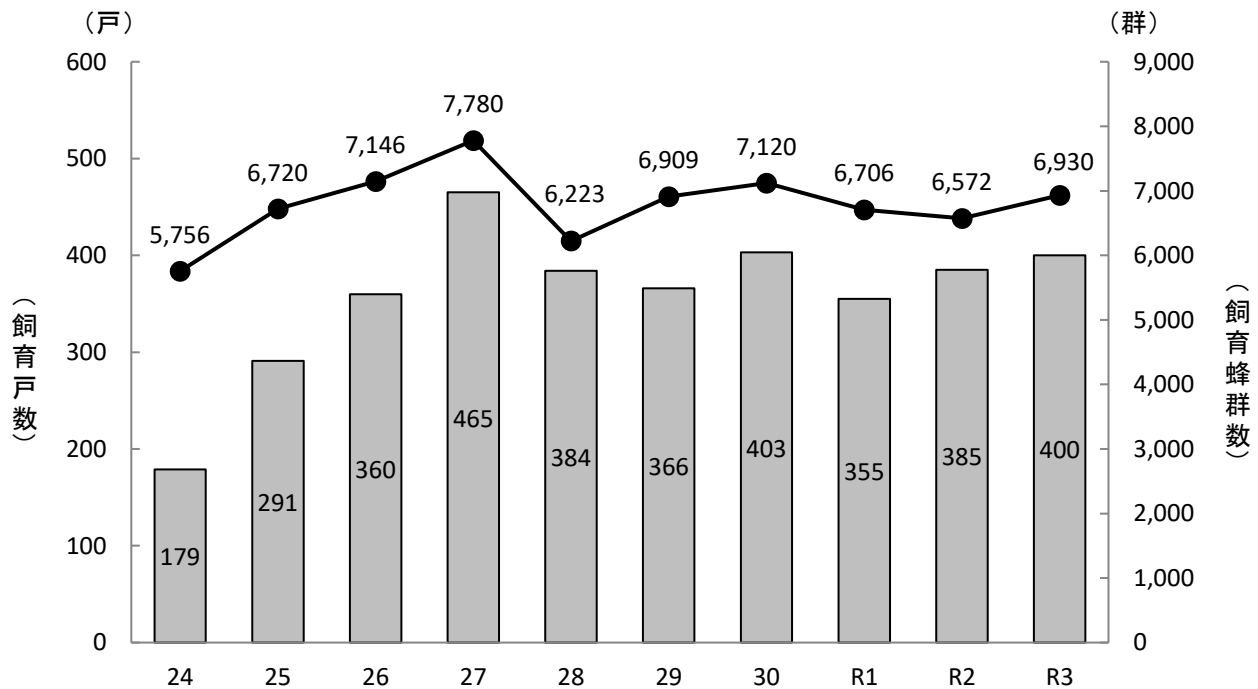
令和元年次は調査未実施

出荷羽数は減少

令和2年次のブロイラー出荷羽数は344万6,000羽で、前回調査時(H30)と比べて8.2%減少した。

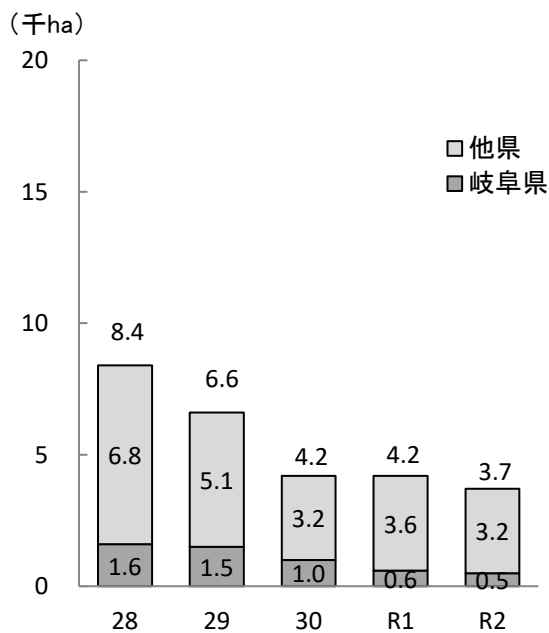
5 養蜂

蜜蜂飼育状況の推移



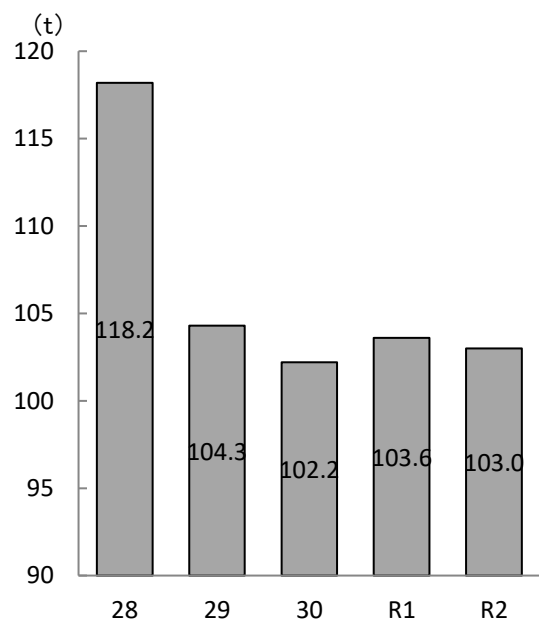
資料: 県畜産振興課

全国のレンゲ作付面積に占める岐阜県の割合



資料: 農林水産省「養蜂をめぐる情勢」、県畜産振興課

県内のはちみつ生産量



資料: 岐阜県養蜂組合連合会

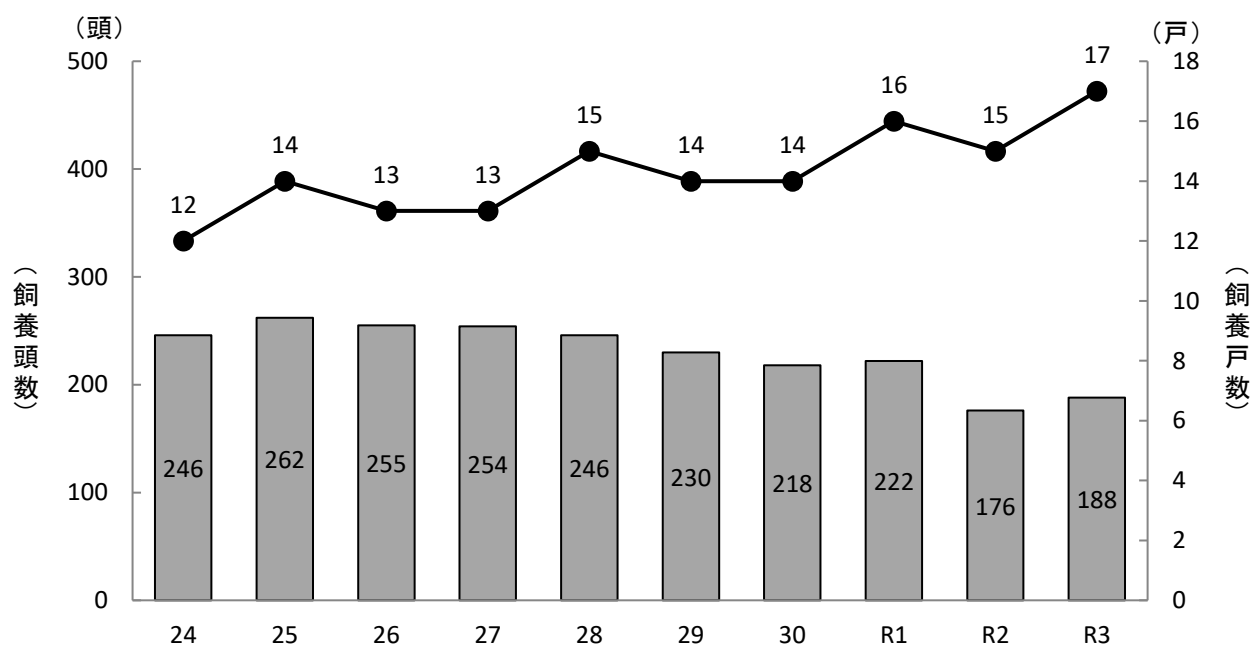
飼育戸数はわずかに増加

令和3年1月1日現在の飼育戸数は400戸で、前年に比べ4%増加し、飼育蜂群数は6,930群で、前年に比べ5%増加した。平成24年6月の養蜂振興法の改正に伴い、蜜蜂飼育届の対象者が養蜂業者に加え、趣味などで蜜蜂を飼育する者まで拡大され、届け出結果による飼育戸数及び群数は不安定な推移となっていたが、近年は横ばい傾向となっている。

県の花であり、蜜源として重要な役割を果たしているレンゲの作付面積は、年々減少傾向にあり、令和2年度は500haであった。令和2年度の県内はちみつ生産量は103.0万tで、前年に比べ1%減少した。

6 めん羊・馬

(1) めん羊の飼養戸数と頭数

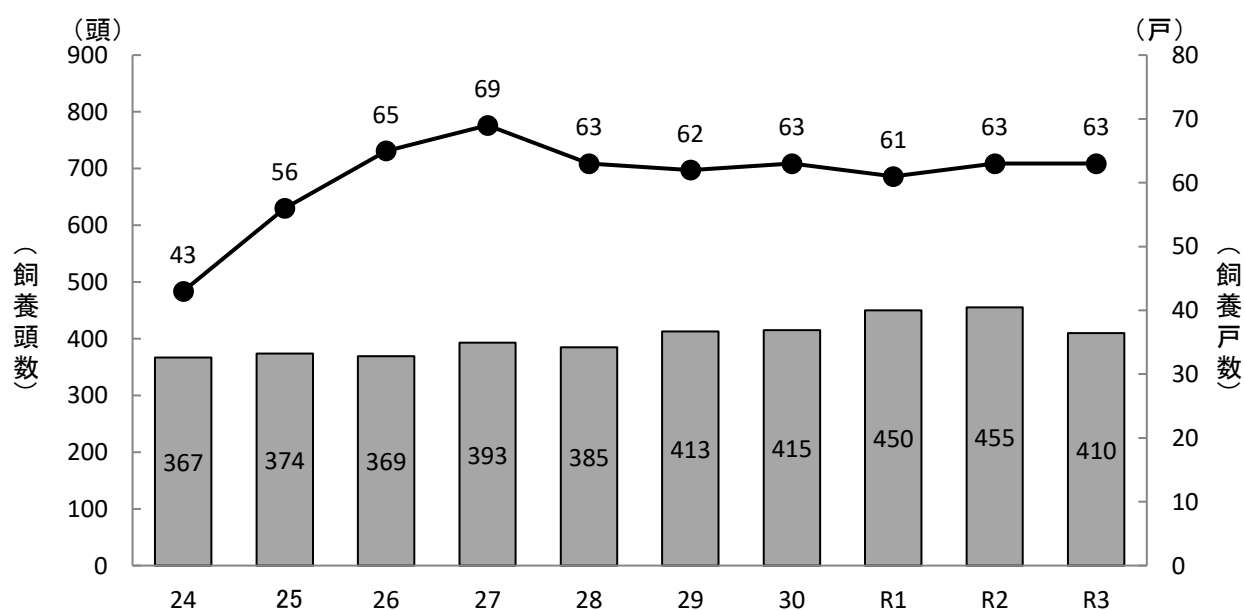


資料: 県畜産振興課

めん羊の飼養頭数は増加

令和3年2月1日現在のめん羊の飼育戸数は17戸であった。飼育頭数は、前年に比べて12頭増加して188頭になった。

(2) 馬の飼養戸数と頭数



* 笠松競馬は除く

資料: 県畜産振興課

馬の飼育頭数は減少

令和3年2月1日現在の馬の飼養戸数は63戸、飼養頭数は410頭であった。

公共牧場の概要

番号	区分 牧場名	牧場所在地	所有者	管理者	牧場面積 (ha) ^{※1}	左の内訳(ha) ^{※1}			R2.7.1現在飼養頭数 ^{※3}		
						牧草地 ^{※2}	野草地 (混牧林地)	その他	乳用牛	肉用牛	その他
1	とうのうぼくじょう 東濃牧場	恵那市長島町鍋山	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	229	162 (53)	-	67	715	61	-
2	ひだほくじょう 飛騨牧場	高山市清見町檜谷	岐阜県	(一社)岐阜県農畜産公社	410	281 (44)	-	129	-	553	-
3	みぞれぼくじょう 水沢上牧場	郡上市明宝奥住	郡上市	郡上市	100.2	85 (17)	8.2	7	-	○	-
4	たきうえぼくじょう 滝上牧場	下呂市小坂町滝上	下呂市	南飛騨牧場管理組合	130	41	89	-	-	○	-
5	くろいしぼくじょう 黒石牧場	下呂市馬瀬黒石	下呂市	南飛騨牧場管理組合	9	9	-	-	休止中		
6	いわいぼくじょう 岩井牧場	高山市岩井町	高山市	高山市	13	13	-	-	-	○	-
7	いっしきぼくじょう 一色牧場	高山市荘川町一色	高山市	高山市	75	61	14	-	-	○	-
8	ひらいわぼくじょう 平岩牧場	高山市朝日町胡桃島	飛騨森林管理署	平岩牧野管理組合	8	8	-	-	-	○	-
9	おおひらぼくじょう 大平牧場	高山市朝日町胡桃島	岐阜森林管理署	大平牧野管理組合	170	-	170	-	-	○	-
10	ひだおんたけぼくじょう 飛騨御岳牧場	高山市高根町日和田・猪之鼻	高山市	高山市	473	174	299	-	-	○	-
11	ほだかぼくじょう 穂高牧場	高山市奥飛騨温泉郷神坂	飛騨森林管理署	高山市和牛改良組合上宝支部	20	-	20	-	休止中		
12	かみやすぼくじょう 荻安牧場	高山市一之宮町荻安	高山市	宮村草地管理組合	40	40 (18)	-	-	○	○	-
13	おどりやまぼくじょう 小鳥山牧場	高山市清見町池本	高山市	高山市	71	71	-	-	-	○	-
14	しらゆみぼくじょう 白弓牧場	大野郡白川村木谷	白川村	白川村	20	20	-	-	休止中		
15	おおふなぼくじょう 大船牧場	恵那市上矢作町	恵那市	恵那市	29.4	29.4	-	-	休止中		
16	なかつがしふれあいぼくじょう 中津川市ふれあい牧場	中津川市落合	中津川市	中津川市	45	19 (12)	1	25	-	-	羊, 山羊 ポニー
17	くらいやまぼくじょう 位山牧場	下呂市萩原町山之口	下呂市	南飛騨牧場管理組合	26	25	-	1	-	○	-
18	くてぼくじょう 久手牧場	高山市丹生川町久手	高山市	高山市	100	36 (4)	64	-	-	○	-
19	もりもぼくじょう 森茂牧場	飛騨市神岡町森茂	飛騨市	森茂牧場管理組合	14	14	-	-	-	-	-
20	いしやすみぼくじょう 石休牧場	中津川市馬籠	中津川市	石休草地利用組合	11	11	-	-	-	○	-
21	かくれぼたぼくじょう 隠畑放牧場	高山市朝日町青屋	高山市	隠畑牧野管理組合	90	31	59	-	-	○	-
22	きびゅうぼくじょう 黍生牧場	高山市高根町黍生	黍生地区区有林	黍生和牛生産組合	137	-	137	-	-	○	-
23	まんみなみぼくじょう 万波牧場	飛騨市宮川町万波	飛騨市	農事組合法人飛騨かわい牧場	24	24 (24)	-	-	-	-	-
合計					2244.6	1154.4	861.2	229			

※1 四捨五入表示をしているため、各内訳を積み上げた数値は牧場面積の数値と一致しない場合がある。

※2 ()内は採草地及び兼用地で内数

※3 飼養頭数は県有牧場のみ開示

令和2年度に利用されている公共牧場は19牧場あり、その所有状況は、県有2牧場、市町村有14牧場、任意組合等有3牧場となっている。

県内畜産関係機関一覧(順不同) ※令和4年4月1日時点

名称	郵便番号	所在地	電話	FAX
東海農政局岐阜県拠点(統計チーム)	500-8288	岐阜市中鶉2-26	(058)271-4064	271-4066
岐阜県農政部畜産振興課	500-8570	岐阜市藪田南2-2-1	(058)272-1111 (代)	278-2694
岐阜県農政部家畜防疫対策課		(酪農・飼料係／養豚・養鶏係)	(058)272-8449 (直)	
		(畜産基盤係／銘柄推進係)	(058)272-8447 (直)	
		(防疫企画係／防疫推進係)	(058)272-8909 (直)	278-3533
		(防疫指導係)	(058)272-8446 (直)	
		(捕獲調査係)	(058)272-8091 (直)	
		(経口ワクチン対策係)	(058)272-8892 (直)	
岐阜農林事務所	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 OKBふれあい会館内	(058)213-7905 (直)	215-9029
西濃農林事務所	503-0838	大垣市江崎町422-3 西濃総合庁舎内	(0584)73-1111 (代)	73-1156
揖斐農林事務所	501-0603	揖斐郡揖斐川町上南方1-1 揖斐総合庁舎内	(0585)23-1111 (代)	22-6725
中濃農林事務所	501-3756	美濃市生櫛1612-2 中濃総合庁舎内	(0575)33-4011 (代)	33-4060
郡上農林事務所	501-4292	郡上市八幡町初音1727-2 郡上総合庁舎内	(0575)67-1111 (代)	67-0961
可茂農林事務所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111 (代)	28-5301
東濃農林事務所	507-8708	多治見市上野町5-68-1 東濃西部総合庁舎内	(0572)23-1111 (代)	23-9440
恵那農林事務所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111 (代)	26-1377
下呂農林事務所	509-2592	下呂市萩原町羽根2605-1 下呂総合庁舎内	(0576)52-3111 (代)	52-1483
飛騨農林事務所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111 (代)	36-1246
中央家畜保健衛生所	501-1112	岐阜市柳戸1-1	(058)201-0530	201-0531
中濃家畜保健衛生所	505-8508	美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎内	(0574)25-3111 (代)	27-3092
東濃家畜保健衛生所	509-7203	恵那市長島町正家後田1067-71 恵那総合庁舎内	(0573)26-1111 (代)	25-7669
飛騨家畜保健衛生所	506-8688	高山市上岡本町7-468 飛騨総合庁舎内	(0577)33-1111 (代)	32-9019
岐阜県農業大学校	509-0241	可児市坂戸938	(0574)62-1226	62-1227
岐阜県畜産研究所				
(飛騨牛研究部)	506-0101	高山市清見町牧ヶ洞4393-1	(0577)68-2226	68-2227
(酪農研究部)	509-7601	恵那市山岡町久保原1975-615	(0573)56-2769	56-2974
(養豚・養鶏研究部)	501-3924	関市迫間2672-1	(0575)22-3165	22-3164
岐阜県農業技術センター	501-1152	岐阜市又丸729-1	(058)239-3131 (代)	239-3139
岐阜県東濃牧場	509-7211	恵那市長島町正家鍋山4-66	(0573)56-2737	56-2146
岐阜県飛騨牧場	509-2701	高山市清見町櫛谷116-4	(0576)69-2188	69-2189
岐阜県地方競馬組合	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)387-3278	387-0974
(一社)岐阜県農畜産公社	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)276-4601	276-1268
岐阜大学応用生物科学部	501-1193	岐阜市柳戸1-1	(058)293-2834 (代)	293-2840
岐阜県農業協同組合中央会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5611	278-0039
岐阜県信用農業協同組合連合会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5111 (代)	278-0135
全国農業協同組合連合会岐阜県本部畜産販売課	501-3928	関市西田原字大河原441 関家畜流通センター内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
JA東日本くみあい飼料(株)東海支店岐阜駐在	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	(058)276-5345 (代)	276-5348
岐阜県農業共済組合	501-6132	岐阜市次木348-1	(058)270-0081	270-0088

名 称	郵便番号	所 在 地	電 話	FAX
岐阜県酪農農業協同組合連合会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
(一社)岐阜県畜産協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1531 (代)	278-0068
(公社)全国和牛登録協会岐阜県支部	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県肉用牛協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県養豚協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
岐阜県養鶏協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9205	278-0068
飛騨牛銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
飛騨けんとうん・美濃けんとうん普及推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
美濃ヘルシーポーク銘柄推進協議会	501-3928	関市西田原字大河原441 全農岐阜県本部畜産販売課内	(0575)23-6177 (代)	24-7554
奥美濃古地鶏普及推進協議会	501-2105	山県市高富227-4 岐阜アグリフーズ(株)内	0581-27-3766	22-1536
岐阜県家畜人工授精師協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)273-9200	273-9200
(公社)岐阜県獣医師会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1595	275-1843
岐阜県牛乳普及協会	501-3756	美濃市生櫛439-2	(0575)46-8803	46-8891
岐阜県牛乳協会	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1596	274-4223
岐阜県牛乳事業協同組合	500-8385	岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉・農業会館内	(058)201-1596	274-4223
(一社)岐阜県農業会議	500-8384	岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎内	(058)268-2527	273-6177
(株)岐阜県畜産公社	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)272-2559	274-9666
岐阜県食肉事業協同組合連合会	500-8266	岐阜市境川5-148	(058)273-6011	274-8248
(一社)岐阜県配合飼料価格安定基金協会	500-8384	岐阜市藪田南1-5-1 第2松波ビル内	(058)273-9032	273-0328
岐阜県養蜂組合連合会	501-3152	岐阜市岩滝西1丁目129	080-4533-1068	242-9938
岐阜県家畜商協同組合	500-8357	岐阜市六条大溝4-4-7	(058)273-9207	271-1471
(公財)みつばちの家	502-0801	岐阜市椿洞776-3	(058)294-2002	—
(一社)岐阜県馬主会	501-6036	羽島郡笠松町若葉町12 笠松競馬場内	(058)388-1213	388-1213
岐阜県園芸特産振興会	500-8367	岐阜市宇佐南4-13-1 農協会館内	058-276-5337	276-5338
岐阜県飼料用米利用促進協議会	509-0108	各務原市須衛町4丁目291 岐阜養鶏農協内	(058)370-8323	370-8091
(一社)ぎふクリーン農業研究センター	500-8367	岐阜市宇佐南4-11-5	(058)276-5072	276-5074
岐阜県農業再生協議会	500-8570	岐阜市藪田南2-1-1 岐阜県庁農産園芸課内	(058)272-1111 (代)	278-2692



2021 岐 阜 の 畜 産

令和4年3月発行

編集・発行 岐 阜 県

岐阜市藪田南2-1-1

TEL (058) 272-1111(代)